



シンフォニア

Ken Nishikiori

スペシャルゲスト「テノール」錦織健

Mykola Diadiura

「指揮」ミコラ・ジャジュラ

The Symphony Hall

2024
12/31

ジルベスターコンサート

2025
1/1

ニューイヤーコンサート

ウクライナ国立歌劇場管弦楽団



Close Up

大木麻理

クリスマスオルガンコンサート2024&
新超絶のスター・ウォーズ

ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ
ニューイヤーコンサート!

熱狂コンチェルト2025 上原彩子インタビュー

ほか

「ソプラノ」
リリア・グレヴツォヴァ



「メゾ・ソプラノ」
アンジェリーナ・シヴァチカ



- 2 ジルベスターコンサート2024&ニューイヤーコンサート2025
4 第九特集
6 古澤巖×ベルリン・フィルハーモニック ストリングス
愛のクリスマス2024 インタビュー 後編
7 フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン
8 大木麻理 クリスマスオルガンコンサート2024&新超絶のスター・ウォーズ
10 The Symphony Hall Big Band
11 砂川涼子ソプラノ・リサイタル
12 来日35周年記念コンサート《フランチェスコ・ダルテニャ with フレンズ》
～イタリアオペラのレジェンドと日本のオペラスターたちの共演～
秋川雅史インタビュー
14 オールスター紅白オペラ歌合戦 2024 近藤勇斗インタビュー
15 The Symphony Hall Super Brass × THE SOUL MATICS ゴスペル
16 新年(1/1～15) 特集
17 守山俊吾2025新年公演
18 ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ ニューイヤーコンサート!
20 オルガン名曲決定版 2025 濱野芳純インタビュー
22 ケルン・ギェルトツェニヒ管弦楽団 大阪公演 サカリ・オラモ インタビュー
24 熱狂コンチェルト 2025 上原彩子インタビュー
26 宮田 大×福岡洸太郎 デュオリサイタル インタビュー 後編
27 仲道郁代 ピアノ・リサイタル
28 横坂源 チェロ・リサイタル2025
29 川井郁子 シンフォニックコンサート2025
音楽舞台～源氏がたり～&ヴァイオリンコンサート インタビュー 前編
30 珠玉のシネマ名曲SELECTION Vol.9 荒 庸子 チェロ・リサイタル 2025
31 Osaka Shion Wind Orchestra 第158回定期演奏会
32 eチケット／ザ・シンフォニーホールと韓国 Daegu Concert House 連携協定
33 小味渕彦之「こみちゃんの温故知シン」vol.12
34 ABC主催公演:イベント情報
38 日本センチュリー交響楽団
40 大阪音楽大学 第67回 定期演奏会
関西学院クリスマスatザ・シンフォニーホール
41 堀江政生のシンフォニアアワー vol.66
42 コンサートレポート(アムラン、真夏のオルガン)
43 Concert Calendar 2024.11～2025.1

11月のSinfonia会員先行予約について

Sinfonia会員先行予約を開始する11月21日(木)～11月27日(水)の期間は「お電話」と「窓口」の営業を10:00～18:00とさせていただきます。この期間以外の営業時間は、お電話・窓口ともに11:00～16:00となります。※火曜定休

※Sinfonia会員先行予約期間中は、電話・WEBのみのご予約となります。

●電話:ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休)
詳細はホームページをご確認ください。

●WEB: <https://www.symphonysymphonyhall.jp/>

登録費
年会費
無料!

シンフォニア会員登録方法

シンフォニア会員にご登録いただきますと、先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、メールマガジンの受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!

▼ WEBサイトからのご登録

ザ・シンフォニーホール ホームページ
<https://yyk1.ka-ruku.com/symphonysymphonyhall-s/memberRule> からご登録ください。

利用登録後、ログインをしていただき、マイページから「入金」ボタンを押してください。

携帯・スマートフォンをご使用の方はこちらからアクセスしていただけます。

▼ ハガキでのご登録

定型ハガキに下記の情報を記載いただき、85円切手を貼付の上、ポストに投函ください。

【定型ハガキ裏】1.お名前(フリガナ付き)、2.性別、3.郵便番号、4.住所、5.電話番号、6.メールアドレス(メールマガジン受取りの場合)

【定型ハガキ表】〒531-8501 大阪市北区大淀南2丁目3-3
ザ・シンフォニーホール「シンフォニア」係

※手続き完了後、約2週間で会員番号のお知らせと、シンフォニア最新号をお送り致します。

※携帯端末のメールアドレスをご登録いただく場合、受信設定をしている方はメールが受信できない場合がございます。
「@symphonysymphonyhall.jp」をドメイン指定受信してください。指定方法はご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

【お客様の個人情報の取り扱いについて】株式会社ザ・シンフォニーホールでは、次に掲げた内容にしたがって、個人情報の保護に努めてまいります。○お客様から提供いただいた個人情報については、個人情報に関する法令、規範に則り正しく管理いたします。○お客様からいただいた個人情報は、以下の目的のために使用し、それ以外には一切使用いたしません。(1) シンフォニア会員様への情報誌「シンフォニア」および関連する印刷物の発送 (2) ザ・シンフォニーホールで開催する催事をご案内する印刷物の発送 (3) ホールなど施設の利用に関するご案内、ご連絡 (4) ザ・シンフォニーホール事業、サービス等の開発・改善を目的とした調査・研究のためのアンケートの送付・分析・データ集積 (5) チケット予約販売に伴う、ご本人確認および連絡 (6) 本大会場およびザ・シンフォニーホールに関するご案内の発送の個人情報の提供はご自身の意思でご本人様が行うものといたします。○お客様の個人情報を、適正かつ迅速に処理するため、その作業を外部の企業に委託して行うことがあります。その場合、委託先において個人情報の安全に管理されるよう適切に監督します。

The Symphony Hall オリジナルスケジュール帳

ザ・シンフォニーホール 2025プランナー

数量
限定

タテ・ヨコ両方で使える便利なレイアウト

タテ向き
なら

ヨコ向き
なら

携帯するのに便利な
内ポケット&ペンホルダー付き
※ペンや小物は付属しません

✓ チケット購入時やコンサート
当日に使えるホール座席表

上品な質感、シックなカラーリングのカバー

NEW

ブルー レッド キャメル ブラック

A6(文庫本)サイズ 全4色展開 各色 2,640円(税込)

販売場所 The Symphony Shop (公演日の開場中～終演後)
ザ・シンフォニー チケットセンター 窓口(11:00～16:00 火曜定休)

お問合せ ザ・シンフォニーホール TEL 06-6453-1010
HP <https://www.symphonysymphonyhall.jp>

ザ・シンフォニーホール 子供舞台芸術鑑賞体験支援事業 18歳以下限定 子供無料招待席のご案内

ザ・シンフォニーホールでは、子供たちが劇場・音楽堂等において本格的な実演芸術を鑑賞・体験等する機会を提供する取組を、文化庁支援のもとで行うことが決定いたしました。下記の対象公演で子供無料招待席を設け、18歳以下の皆様に公演にご招待いたします。ふるってご応募ください。

2024.12/20(金)7:00PM [対象]中学生以上18歳以下 砂川涼子 ソプラノ・リサイタル	2025.1/1(水・祝)3:00PM [対象]小学生以上18歳以下 The Symphony Hall ニューイヤーコンサート2025	2025.2/11(火・祝)3:00PM [対象]中学生以上18歳以下 The Symphony Hall プラチナコンサート 世界の巨匠とともに 2024 ケルン・ギェルトツェニヒ管弦楽団 大阪公演
2024.12/29(日)3:00PM [対象]4歳以上18歳以下 The Symphony Hall Super Brass×THE SOULMATICS ゴスペル ～cooperate with Osaka Shion Wind Orchestra～ The Symphony Hall 2024 年末スペシャルコンサート	2025.1/10(金)7:00PM [対象]中学生以上18歳以下 ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ ニューイヤーコンサート!	2025.2/21(金)7:00PM [対象]14歳以上18歳以下 The Symphony Hall Super Brass ～cooperate with Osaka Shion Wind Orchestra～
2024.12/31(火)4:00PM [対象]小学生以上18歳以下 The Symphony Hall ジルベスターコンサート2024		

文化庁 子供文化芸術活動支援事業
(劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業)

対象者

公演当日、対象年齢以上18歳以下
(公演によって異なりますので、ご注意ください)

ご応募・
その他詳細は
こちらから▶▶▶

The Symphony Shop OPEN!!

大変お待ちしております!
多くのお客様よりお声をいただいておりますザ・シンフォニーショップがついに再開!
ホールオリジナルの新商品をはじめ、コンサートの思い出になるようなグッズをご用意しております。
是非お立ち寄りください!

今、買うとお得!!

ショップの営業再開を記念して
The Symphony Hall
オリジナルスケジュール帳を
店頭にて、期間限定の特別価格にて
販売しております。

期間
2024年11月30日(土)まで
特別価格
各色 2,200円(税込)

マエストロ・コール
刺繍入りタオルハンカチ

マエストロ・コール
ポケットポーチ

グランドピアノ型鉛筆削り

ロゴ入りピアノクリップ



を祝う乾杯をした。2023年12月、20時には終演していたが、今回はこちらからパーティーには誘えない。ジャジュラさんから「明日からは2024年が始まる。共に2023年に乾杯しよう。」と誘われて、終演後、ホールでオーケストラメンバー全員とホールスタッフと共に「この戦争で亡くなった全ての人々に哀悼の意を捧げ、神に音楽の才能をくれた事。今、生きている命に感謝を捧げる。」とのジャジュラさんの挨拶で親交を深めた。その時、指揮者から「オーケストラの総意としてお願いがある。」と申し出が。内容は「1月1日は世界中がその日を祝う。ただ、ウクライナでは戦没者を弔う日となっていました。私達は日本の新年を心から祝い、平和を願うコンサートも明日も行うが、1曲だけコンサートの始まる前に追悼の曲を演奏したい。そしてその後は、全ての来場者が笑顔になれる幸せな時間を提供したい。」とのこと。ワインを水のように飲み、笑顔で騒いでいたメンバー達も、チラチラとこちらの反応を見守り、答えを待っている事だけを感じた。

音楽を届けることができるない、最後まで演奏したい

翌日1月1日15時に追悼曲を演奏し、仕切り直して、スタートしたニューイヤーコンサート。後半が始まるうとしたその時、大きな地震に遭遇した。館内では休憩時間が終わる所で、多くの人がロビーから客席に戻り、オーケストラが舞台に出てくるのを待っていたその時だった。ロビーではシャンデリアが振動で大きな音を出し、舞台では照明機材が大きく前後に揺れていた。館内にはどよめきが広がる。「安心してください。この建物は基準以上に耐震性がある建物です。この照明は2重3重の落下防止策が施されているので、落ちるは来ません。だから私が舞台のと真ん中で話せているんです。」館内が落ち着き引き続き演奏会を中断して全ての安全確認を行い、同時に舞台では私自身がホールの安全対策、地震対策等を説明しているときに飛び込んだ。その「能登半島最大震度7」。阪神淡路大震災の直撃を受けた経験のある私自身がその衝撃を今も覚えていて、「激甚災害」の発生に心が揺れた。舞台袖にはオーケストラメンバーと、楽屋に戻らずメンバーに話しかけているジャジュラさんでひしめき合っていた。「このエリアはホールも含めて大きな被害は無い、ただ国内で激甚災害が発生した。」正直にジャジュラさんに話し、観客にもアナウンスをした。「このまま演奏会を再開するのか?」「舞台で話しながらも心が揺れた。ジャジュラさんとも話した。彼は「我々の地元の演奏会は何度も空襲警報で中断しているが、それでも怯まずに演奏を続けている。」「日本が大変な事になって、でも今、音楽を届ける事が継続できるなら私達は最後まで演奏したい。」彼の言葉には信念が漲っていた。しかしまだ心は揺れていた。舞台上で揺れていた照明器具などの安全確認が終わろうとしていた時「よし、みんなに聞こう。」と決意して舞台で観客に問いかけた。「日本国内で激甚災害が発生した。多分、家に帰ったら凄まじい映像が飛び込んでくると思う。そんな中、今、演奏会を続けるべきか? 中止すべきか? 迷っている。他方、ウクライナから来た彼らは空襲警報の中でも演奏会を続け、今も、安全さえ確認できれば演奏を続けたいと言っている。如何でしょうか?」「しほしの沈黙の後、会場から満場の拍手と演奏者に対する声援が送られた。結果、演奏会が再開

し、45分も遅れたが無事に終演した。終演後、多くの方々から、「よく最後まで演奏してくれた。」と彼らを絶賛する声を多数聞いた。

オーケストラを通じて人柄に触れる

母国では戦争の終結が全く見えない中、悲しいことにメンバーも更に数名減ったと聞いている。それでも、2024年12月31日「人々に平和の絆を届ける」為に、今回マエストロ・ジャジュラは、ウクライナ国立歌劇場管弦楽団を率いて来日してくれる。

毎回、年末最後のクラシック聴き納め、又、年明けの、初クラシック、をウクライナの管弦楽団と共に過ごして頂いている皆様。今年も彼らの想いに耳を傾けながら、この1年を締めくくりましょう。そしてまだ聴いたことの無い皆様。是非The Symphony Hallに足を運んでいただき、ジャジュラさんとオーケストラメンバーの素晴らしい人柄に音楽を通して触れてみて下さい。

どんな困難があっても、音楽、そしてお客様と向き合い続ける信念を感じていただけるはずです。クラシック音楽が好きなのも、初めての人も、その人柄に魅了され、幸せな気分になれることだろうと思います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

(文) The Symphony Hall
取締役GM・音楽総監督 喜多弘悦

ザ・シンフォニーホール ジルベスターコンサート2024
 [指揮]ミコラ・ジャジュラ [スペシャル・ゲスト/テノール]錦織 健★
 [ソプラノ]リリア・グレヴツォヴァ [メゾ・ソプラノ]アンジェリーナ・シヴァチカ
 [管弦楽]ウクライナ国立歌劇場管弦楽団

ブッチーニ:『トスカ』より「妙なる調和」★/ブッチーニ:『ラ・ボエーム』より「私の名はミミ」/ブッチーニ:『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」★/モーツァルト:『魔笛』序曲、「なんと美しい絵姿」★/サルトリ:タイム・トゥ・セイ・グッバイ(君と旅立とう)★/ヴェルディ:『ドン・カルロ』より「むごい運命」 ほか

2024.12/31(火)4:00PM
 S 12,000円 A 9,000円 B 6,000円(税込)
 [お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
 [主催]ザ・シンフォニーホール 協力:旭酒造株式会社

発売中

ザ・シンフォニーホール ニューイヤーコンサート2025
 [指揮]ミコラ・ジャジュラ [スペシャル・ゲスト/テノール]錦織 健★
 [ソプラノ]リリア・グレヴツォヴァ [メゾ・ソプラノ]アンジェリーナ・シヴァチカ
 [管弦楽]ウクライナ国立歌劇場管弦楽団

レハール:『微笑みの国』より「君は我が心の全て」★/J.シュトラウス2世:「こもり」序曲/J.シュトラウス2世:ワルツ「美しく青きドナウ」/ブッチーニ:「ジャンニ・スキッキ」より「私のお父さん」/J.シュトラウス2世:ホルカ「雷鳴と稲妻」/オッフェンバック:「ホフマン物語」より「ホフマンの舟唄」 ほか

2025.1/1(水・祝)3:00PM
 S 12,000円 A 9,000円 B 6,000円(税込)
 [お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
 [主催]ザ・シンフォニーホール 協力:旭酒造株式会社

発売中

スペシャル・ゲスト
「テノール」
錦織 健
Ken Nishikiori

The Symphony Hall ジルベスターコンサート2024 ニューイヤーコンサート2025

苦境を乗り越え、世界に癒しを届ける **ウクライナ国立歌劇場管弦楽団**



「平和への祈り」ウクライナの管弦楽団が来日

2019年大晦日The Symphony Hallの舞台に指揮者ミコラ・ジャジュラが率いるウクライナ(キエフ)国立フィルハーモニー交響楽団が素晴らしい舞台を披露してくれて、多くの観客と共に新年を迎え、新年1月1日には共にニューイヤーコンサートでその年の幸福を願い、「寒い時期だけど、また来て下さいねー」(喜多)「いやいやウクライナに比べたらこの国はとっても暖かいし人々も温かいから喜んでまたくるよー」とジャジュラさんと笑顔で再会を約束してからもう5年。いやまだ5年か? 本当に長く感じる5年だった。2021年12月、2度目の公演が決まっていたが新型コロナで来日が不可となり断念。2022年12月、今度はロシアからの侵攻を受けて来日できなくなり、2023年12月4年ぶりにやっと再会できた。「私達は今、命の危険にさらされている。若いメンバーの中には戦地に向かい命を失った人もいます。」「私達にできる事は、大声で誰かを非難する事では無く、音楽を通じて世界に平和を訴え、融和、友好を図ること。」「初回から指揮をするジャジュラさんの奥深い一言だった。

コロナ以降、12月31日のコンサートは夕方行っている。2019年は24時過ぎに終演してメンバー皆で新年

第九特集

第九 de クリスマス

テレマン 室内オーケストラ



新年への希望を分かち合う「第九交響曲」と、今年一年の無事を寿ぐようなクリスマスのメロディー、この両方を心から楽しんでいただけるのが「第九 de クリスマス」です！

ベートーヴェンの交響曲第9番「合唱付」は、2024年に初演から200年を迎えました。マエストロ延原がこだわる「100人の第九」は、研ぎ澄まされたミニマムの美の極致。200年前に初演された鮮烈な「第九」が脳裏によみがえり、人類の歓びがより一層美しく際立ちます。後半には、バロック・古典派の大家による超有名な曲が控えます。生誕200年を迎えたブルックナーによる無伴奏合唱曲「アヴェ・マリア」の静謐な響きもお楽しみください！

[指揮]延原武春 [管弦楽]テレマン室内オーケストラ
[合唱]テレマン室内合唱団 [ソプラノ]六車智香・渡辺有香
[アルト]渡邊由美子 [テノール]鹿岡晃紀 [バリトン]篠部信宏

【第1部】100人の第九 ベートーヴェン 交響曲 第9番 二短調「合唱付」op.125
【第2部】テレマンのクリスマス名曲集 テレマン:「3つのトランペットとティンパニのための協奏曲」より 第1・2楽章 / ヴィヴァルディ・ヴァイオリン協奏曲集「四季」より「冬」第2・3楽章 / モーツァルト 交響曲 第25番 二短調 K.183より第1楽章 / 歌劇「魔笛」より 夜の女王のアリア (ソプラノ:渡辺有香) / J.S.バッハ:「主よ、人の望みの喜びよ」 / フルックナー:「アヴェ・マリア」/ クリスマス・キャロル:「まきびとひつじを」「もろびとこぞりて」

2024.12/22 (日) 1:30PM ※開演時間にご注意ください

全席指定 A 5,500円 B 4,500円 C 売切 (税込)

【お問い合わせ】ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

【主催】ABCテレビ

発売中



管弦楽
テレマン室内オーケストラ

関西フィルハーモニー管弦楽団「第九」特別演奏会 『vor Gott — “神の前に”… ベートーヴェン、彼岸への旅(前篇)』

関西フィルハーモニー 管弦楽団



[指揮]マリオ・コシック [ソプラノ]伊藤 晴 [メゾ・ソプラノ]福原寿美枝
[テノール]中井亮一 [バリトン]上江隼人 [合唱]関西フィルハーモニー合唱団
[管弦楽]関西フィルハーモニー管弦楽団

ベートーヴェン 序曲「コリオラン」op.62

交響曲第9番 二短調「合唱付」op.125

2024.12/7 (土) 2:30PM

全席指定 S 6,500円 A 5,000円 B 3,500円 C 2,500円 (税込)

学生席(25歳以下) 1,000円 ※学生席は関西フィル事務局のみ取扱

【お問い合わせ】関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6115-9911

【主催】公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団

発売中



管弦楽
関西フィルハーモニー管弦楽団

あのフジコ・ヘミングの最後の愛を一身に受けたマエストロ、マリオ・コシックが、気鋭のソリスト陣を得て、推進力に満ちた《第九》を雄渾に響かせる注目の公演。今回は、「ベートーヴェン、彼岸への旅」と題した特別企画の「前篇」として、「コリオラン」序曲、そして《第九》の圧倒的迫力を存分に体感して頂こう。なお「後篇」となる今回の2025年2月定期では、今や円熟の極みにある阪 哲朗がタクトを握り、畢生の大作《ミサ・レムニス》(荘厳ミサ曲)を上演する。《第九》と対を成す、その深遠な世界にもどうか浸って頂きたい。

21世紀の第九

日本センチュリー 交響楽団



[指揮]ケン・シェ [管弦楽]日本センチュリー交響楽団

[合唱]日本センチュリー合唱団

[ソプラノ]北野加織 [アルト]糞谷栄里子

[テノール]水口健次 [バリトン]萩原寛明

ベートーヴェン 交響曲 第9番 二短調「合唱付」op.125

2024.12/28 (土) 2:00PM

全席指定 A 6,000円 B 4,500円 C 売切 (税込)

【お問い合わせ】ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

【主催】ABCテレビ

発売中



管弦楽
日本センチュリー交響楽団

1年のクライマックスを締めくくる不滅のシンフォニー！ベートーヴェンの9番目にして最後の交響曲「第九」が、ザ・シンフォニーホールの年末を華やかに彩ります！1993年から長年佐渡裕さんがタクトを握った人気シリーズ。佐渡さんから熱いタクトを受け継いだカナダ生まれのケン・シェが真つ向勝負を挑みます。今年は、「第九」がベートーヴェン自身のタクトで、ウィーンで初演されてからちょうど200年。改めて心に刻みたい、歓喜の歌を、日本センチュリー交響楽団 & 日本センチュリー合唱団、そして豪華歌手陣と共にお届けします！数えきれない感動を与えてきた「第九」。今年は特別な響きでお聴きいただけるのではないのでしょうか。

広上淳一指揮 躍動の第九

大阪フィルハーモニー 交響楽団



[指揮]広上淳一 [管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団

[合唱]大阪フィルハーモニー合唱団 [ソプラノ]中川郁文

[アルト]山下裕賀 [テノール]工藤和真 [バリトン]高橋宏典

ベートーヴェン 序曲「献堂式」op.124

交響曲 第9番 二短調「合唱付」op.125

2024.12/15 (日) 2:00PM

全席指定 A 7,000円 B 5,000円 C 売切 (税込)

【お問い合わせ】ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

【主催】ABCテレビ

発売中



管弦楽
大阪フィルハーモニー交響楽団

大編成大迫力のサウンドで最高の「歓喜」をお届けする「躍動の第九」。今年は、指揮者に卓越した表現力が魅力の広上淳一を迎えて、大阪フィルハーモニー交響楽団 & 大阪フィルハーモニー合唱団、そして華麗な歌手陣と共に、熱気と興奮の「第九」を盛大にお贈りします!! シリーズでは初の登場となる広上マエストロ! さらに大フィルとの「第九」は、20年以上ぶりとなる、再会に胸が高まります。ソリストにはマエストロの信頼厚く、国内外のオペラ公演で活躍目覚ましい実力派ソリストが集結し、100名を超える合唱団と「歓喜の歌」を響かせます。

ウィーンでの初演から200年という世界的なメモリアルイヤーに、伝説となるであろう、広上淳一×大フィルの「第九」がついに幕を開きます！



古澤 巖

Interview
後編

ベルリン・ フィルハーモニック弦楽 愛のクリスマス 2024

国を超えた盟友・仲間と
期待を超える美しい音楽を奏でる

私だけのものではないマリノさん
——なぜ、マリノさんの曲を演奏し続けるのでしょうか？
演奏家は第二次世界大戦前くらいまで、自分で曲をつくって世に発表するのが大事な習わしでした。私が学生のころには周囲に現代音楽があふれ、演奏と作曲という行為が離れたと確信しています。ベルリン・フィルのメンバーを通じて出会ったマリノさんですが、僕は「この人でいい」と決めました。彼が生きている間、できる限り作品を出していこうと。ラフマニノフあたりが美しい音楽の最後

の時期としたら、それでも人類はレジスタンスとして美しい音楽をつくり続けました。今ではレジスタンスの必要がなくなり、マリノさんは自由に曲が発表できる時代になりました。毎年、期待以上の曲をつくってくれています。コレクションが増えていくのがすごいこと。私だけのものではありません。ダンス音楽とクラシックの融合のような曲を、近ごろでは教えている洗足学園の学生がリハーサルをしながら弾けるようになりました。その音楽は身近になってきていると思います。

王道の編成、頼もしいアレンジャー
——古澤さんは、いくつもの多彩で幅広いジャンルのユニットを結成されてきましたが、この弦楽六重奏というユニットは、どんな位置付けになりますか？
ビバルディの時代に確立されたコンチェルト。まさに王道の弦楽オーケラの編成です。ベルリン・フィルは「12人のチェロ」が有名ですが、そのアレンジや作曲をしているダビッド・リニカーさんがメンバーにいるのが何より面白いですね。今年はダビッドさん作の「巖組曲」まで登場します。また、ダビッドさんの編曲でフォー



【弦楽アンサンブル】ベルリン・フィルハーモニック スtrings

レやドビュッシーなどフランスものの結構な数の小品も並びます。フランスものということでは、以前の年配のメンバーとなら心配でしたね。「タイスの瞑想曲？ 何それ」みたいな雰囲気がありましたから（笑）。今のベルリン・フィルはインターナショナル。大いなる愛をもって、音楽を通じて世界中の人とつながることができればと思います。

僕が自身のグループをいかに大事にできるか次第で、十分に對抗できるメンバーが来てくれています。

親しみやすさに甘んじることなく
——最後に大阪という地、ザ・シンフォニーホールでの演奏への思いをお伺いします。
人の住みやすい街なのではと感じます。地方都市に行くと、何か遠慮を感じることがありますが、大阪にはそれがありません。ありがたいことに、ザ・シンフォニーホールを中心にたくさんさんの演奏機会をいただいているので、そのフレンドリーさに甘んじることなく、やることをやらねばと思います。

（取材・文 最上聡）

【ヴァイオリン】古澤 巖

【弦楽アンサンブル】ベルリン・フィルハーモニック スtrings

ポロデン：「ダッタン人の踊り」

フォーレ：「パヴァーヌ」、「シシリエンヌ」

ロベルト・ディ・マリノ：「コンチェルト」よりカラーージュ

ドビュッシー：「月の光」ほか クラシックの小品、クリスマス曲など

2024.12/11(水) 7:00PM

S 8,800円 A 7,000円 U25 3,000円(税込)

※U25席は引換券発行にて当日指定、4枚限定、一般発売よりチケットぴあにて発売

【お問い合わせ】キョードーインフォメーション 0570-200-888

【主催】NHKエンタープライズ/ザ・シンフォニーホール

発売中



魅惑の凄腕アンサンブルが贈る クリスマス・プログラム

ウィーン・フィル&ベルリン・フィルのメンバーとその仲間たち7人が、様々なジャンルの音楽を融合させて新たな解釈で披露するスーパー・アンサンブルとして、今や絶好調のフィルハーモニクス。実はその誕生のきっかけとなった地は日本である。2006年のウィーン・フィル公演に参加していたコントラバス奏者のエーデン・ラーツらが、福岡で「しゃぶしゃぶ」を食べていた時に交わした「他の室内楽グループとは違う、何か新しい方向性を持ってリミットなしで音楽的冒険ができるようなアンサンブルを結成しよう」という何気ない会話が、帰国後にヴィオラ奏者のティロ・フェヒナーらの耳に届いてから数年がかりで実を結び、2012年にベルリン・フィルのチェリスト、シユテファン・コンツやクラリネット名門「家のダニエル・オッテンザマー」などを加えて前身グループの「ザ・フィルハーモニクス」としてデビュー。地元の殿堂ウィーン・コンツェルトハウスを大いに沸かせた後にバリやミュンヘンを始め、ムーティ夫妻の「ラヴェンナ音楽祭」やマリインスキー劇場の「白夜祭」にも招かれて聴衆を魅了した。ドイツ・グラモフォンからも2枚のアルバムを発売したが、3枚

目をリリースするタイミングでメンバー交替を図ってグループ名も「The Philharmonics」から「Philharmonix」と改め、サウンドに更なる洗練を加えた新生フィルハーモニクスとして再始動し現在に至る。

彼らはクラシック・シーンのエリート奏者たちであり、前号V.O. 65に登場したノア・ベンディックスIIバルグリーしかり、ハンガリー系の口音楽を愛する「エーデン」しかり、ジャズのスウィングに精通した「ダニエル」しかり、それぞれが持つルーツや得意分野がグループの音楽性に豊かなエッセンスを与えているのが彼らの強み。だがトレードマークの赤いジャケットが眩しい「ティロ」夫人が女優の中谷美紀であることや、ヴァイオリン奏者セバスティアン・ギュルトラーの曾祖母がオーストリア人と日本人のハーフだったり、前述の「しゃぶしゃぶ」の件もあって、私たちにとつても遠い存在ではなく、何かと親しみを感じてしまう。

そんなフィルハーモニクスが12月にザ・シンフォニーホールに帰還。今回は「世界のクリスマス」がテーマで、彼らならではの各地の文化や伝統を反映させた幅広い選曲が魅力。チャールダッシュ風の

ものがあるかと思えば、バルカン半島からバルト地方まで様々な「メリークリスマス」がステージを駆け巡るはず。もちろんオーソドックスな「ハヴ・ユアセルフ・ア・メリー・リトル・クリスマス」のような定番もあるし、日本が誇る坂本龍一の厳かな「戦場のメリークリスマス」がしっかりと控えているのも嬉しい。時にはオペラからのナンバーなどでクラシカルに決めてくれるところもあるかも。いずれにしても楽しい時間が期待できるのは間違いない！

(文 東端哲也)

[管弦楽] フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン

《世界のクリスマス》

H. マーティン (S. ギュルトラー編): ハヴ・ユアセルフ・ア・メリー・リトル・クリスマス

P. マスカーニ (S. ギュルトラー編): 「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲

S. ギュルトラー: バルト地方のクリスマス

S. コンツ: ハンガリーのクリスマス・チャルダッシュ

ピートルス (S. ギュルトラー編): イエスタデイ

坂本龍一 (咲間貴裕編): 戦場のメリークリスマス ほか

2024. 12/12 (木) 6:30PM

全席指定 S 8,000円 A 7,000円 B 6,000円(税込)

[お問い合わせ] キョードーインフォメーション 0570-200-888

[主催] 関西テレビ放送/キョードー大阪/電通/びあ/ザ・シンフォニーホール

発売中

何度聞いても楽しい！ 人気奏者・大木 麻理によるオルガンコンサート

去る7月26日、「プロジェクションマッピング×パイプオルガン 超絶のタイタニック」で華麗にオルガンを操り、臨場感たっぷりの映画の世界に聴衆をいざなった大木麻理。

ザ・シンフォニーホールですでおなじみの人気オルガニストが、12月14日の「クリスマスオルガンコンサート」、そして2025年1月24日「プロジェクションマッピング×パイプオルガン新超絶のスター・ウォーズ」にふたたび登場する。

[オルガン] Mari Ohki
大木 麻理 Interview

2025 1/24

プロジェクションマッピング
× パイプオルガン

新超絶のスター・ウォーズ

2024 12/14

クリスマスオルガンコンサート 2024



—— 大阪での公演で楽しみにされていること、そして大阪のお客様

迫力満点！新たな編曲とプロジェクションマッピングによる映画の世界

—— 大木さんはすでに7月26日にプロジェクションマッピングと連動するコンサートに出演されましたが、2025年1月の公演も楽しみです。

オルガニストは背中を向けているので、プロジェクションマッピングの映像は、リハーサルの時に少し見るくらいですが、ホールの製作チームの方が毎回素晴らしいものをつくってくださるので、1月のコンサートもご期待ください。オルガンの他に、打楽器2名とドラム1名が参加していただきますが、映像の質やスケールの大きさは、まさにザ・シンフォニーホールのオリジナルですね。映画は時々見るくらいですが、今回弾く作品の中では、『ジュラシックパーク』や『インディ・ジョーズ』の音楽が映像とうまくマッチしていて、とても印象深いですね。プロジェクションマッピングとのコラボレーションは7回目、私は3回目の出演となりますが、今回は『2001年宇宙の旅』『007』を初めてプログラムに入れました。三澤さんに新しいオルガンバージョンを作成していただきましたので、何度でも来ていただける方も新鮮な体験になると思います。

プロジェクションマッピング×パイプオルガン 新 超絶のスター・ウォーズ
[オルガン]大木麻理

2001年宇宙の旅 / インディ・ジョーズ / ハリーポッター / E.T. / ジュラシック・パーク / スター・ウォーズ / バック・トゥ・ザ・フューチャー / バイレーツ・オブ・カリビアン / 007

2025. 1/24 (金) 7:00PM
全席指定 3,000円(税込) **発売中**
[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催] ザ・シンフォニーホール

へのメッセージをお願いします。

ホールのある福島周辺は美食の宝庫なので、毎回おいしいものを探すのも楽しみです。12月のコンサートはクリスマスの時期にオルガンの響きそのものを楽しんでいただけるかと思っています。来年1月のコンサートは視覚的な楽しみもあり、迫力やスピード感のある進化したオルガンの音色を体験していただけたら嬉しいです。オルガンを通じて、非日常を味わいにいらしてください。

(取材文 伊藤制子)



日本、ドイツで異なるクリスマスの過ごし方

—— 大木さんご自身のクリスマスの思い出はどのようなものでしたか？

まだサンタさんを信じていた幼稚園の頃、赤い自転車がほしいとずっと思っていて、サンタさんをお願いしていたんです。そうしてクリスマスの日に、本当に赤い自転車をプレゼントされました！ しばらく印象的な思い出ですね。それからずいぶん経って、大学卒業後にドイツに留学した際に、有名なクリスマスマーケットを楽しみにしていました。ドイツでは夏を過ぎた頃からほとんど昼が短くなり、11月、12月はちょっと陰鬱な季節になります。クリスマスの1か月前くらいから始まるクリスマスマーケットは、まるで天国のように明るく華やかで、暗い季節の光のようだったことをよく覚えています。かわいい装飾が売っていたり、温かいグリニューワインが飲めたりしました。マーケットは21時くらいまで開いているので、大学が終わってからも行っていました。ドイツでは日本のようにホールでのクリスマスコンサートはあまりありませんが、クリスマスの日の教会は特別な空間です。24日の夜中、教会の電気がすべて消え、ロウソクだけが灯り、幻想的で厳かな雰囲気になります。そうした静寂の中で過ごしたのはとても鮮烈な体験で、懐かしい思い出です。

—— 12月14日のクリスマスコンサートの選曲について教えてください。

ザ・シンフォニーホールのオルガンコンサートに何度もいらしている方も楽しめるようなプログラムを考えてみました。オルガンのオリジナル作品から、オーケストラ編曲まで、さまざまな曲を取り上げます。バッハの『主よ人の望みの喜びを』、バッハ『グノーの『アヴェ・マリア』など、おなじみの作品も弾く予定です。ザ・シンフォニーホールのオルガンは、表現の幅が広く、国やジャンルを問わずさまざまな曲を効果的に弾くことができる、無限の可能性を持った楽器です。

三澤慶さん編曲の『ジングルベル』は以前アンコールで弾いたことがあったのですが、ザ・シンフォニーホールのオルガンをよくご存じの三澤さんならではの、楽器の特性をいかした作品になっています。もしかすると鈴などを使うかもしれませんので、お楽しみに！ チャイコフスキーの『くるみ割り人形』の抜粋もさまざまな世代の方に楽しんでいただけるかと思っています。クリスマスの夜に少女クララが体験する夢のような世界がテーマになっています。私はバレエをずっと習っていましたが、みなさんもバレエの世界を思い浮かべながら聞いていただけると嬉しいです。スコットの『クリスマス・セレブレーション』はよく知られたメロディーがたくさん出てくる楽しい曲です。

クリスマスオルガンコンサート2024
[オルガン]大木麻理

J.スコット：クリスマス・セレブレーション/J.S.バッハ：主よ人の望みの喜び BWV147/J.S.バッハ：トッカータ、アダージョとフーガ ハ長調 BWV564/J.S.バッハ/C.グノー：アヴェ・マリア/三澤慶編：ジングルベル/P.チャイコフスキー：バレエ音楽『くるみ割り人形』 op.71より 小序曲 ・行進曲 ・金平糖の精の踊り ・花のワルツ

2024. 12/14 (土) 7:00PM
全席指定 3,000円(税込) **発売中**
[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催] ザ・シンフォニーホール



ザ・シンフォニーホール・ビッグ・バンド ミュージックディレクター 菊池寿人 V.O. 24 ポップオペラ 藤澤ノリマサとともに

ポップオペラとビッグ・バンド
が切り拓く新・感動体験！

ザ・シンフォニーホールの秀麗な音響と相まって生まれるゴー
ジャスなサウンドと変幻自在な
超絶技巧の数々。

2016年にトランペット奏
者の菊池寿人を中心に結成さ
れ、国内有数の名手16名が集う
スター集団「ザ・シンフォニーホー
ル・ビッグ・バンド(TSHBB)」の
躍進が、24年、そして25年も止ま
らない。

様々なジャンルのトップラン
ナーミュージシャンを毎回豪華
ゲストに迎えるTSHBB。
24年12月のV.O. 24は、ポッ
プスとオペラの歌唱を融合させ
た独自の「ポップオペラ」を究め
る人気歌手＆作曲家、藤澤ノリ
マサが登場する。

08年のデビュー・シングル作品
で、ロシアのボロディンの傑作オ
ペラを基にした「ダッタン人の踊
り」は、ポップスとオペラを組み合
わせる藤澤の音楽性がよくわか
る傑作。味わうのに最も適した
佳曲のひとつと言えるだろう。

また、ベートーヴェンの交響曲
第9番をモチーフに、笑顔と希

望に満ちた未来への願いを高ら
かに歌った大作「希望の歌」交
響曲第九番」など、原曲では
ビート感の強いシンセサイザー
をバックに歯切れよく歌われて
いたが、今回のTSHBB(ブラ
ス、ピアノ、ベース、ドラムの編成)
との共演では、どのようなアレ
ンジと歌い方が選択されるか、
ポップオペラとビッグ・バンド双
方の新たな1ページに期待が高
まる！

(文 渡辺謙太郎)

[演奏]The Symphony Hall Big Band
[スペシャルゲスト]藤澤ノリマサ (シンガーソングライター)

ダッタン人の踊り／希望の歌～交響曲第九番～／Yes I do -キスはまだ終わってな
い～／brightness(NHKラジオ深夜便「深夜便のうた」)／Fly me to the
moon／Smoke get's in your eyes／Volare／シング・シング・シング ほか

2024. 12/16 (月) 7:00PM

全席指定 7,500円 18歳以下3,300円(税込)

[お問い合わせ]大阪アートエージェンシー 06-6372-4583

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

ザ・シンフォニーホール・ビッグ・バンド ミュージックディレクター 菊池寿人 V.O. 25

25年は「アナ雪」でおなじみの
国民的歌手と注目共演が実現！

続く25年3月のゲストは、人
気歌手のMay J.。日本、イラ
ン、トルコ、ロシア、スペイン、イ
ギリスという、多様なルーツを
持つマルチな才能の持ち主であ
ることは周知の通りです。歌は

もちろん、作詞、作曲、ピアノ
演奏までこなす彼女の表現力
は、14年公開のディズニ映画
「アナと雪の女王」の日本版
主題歌(エンドソング)を担当
したことで、国民的な人気を
博しました。

それから10年以上が経ち、
May J.の音楽はますます深
みを増しています。そんな彼女
が、今回、ザ・シンフォニーホー
ル・ビッグ・バンドと共演。パワフ
ルかつ繊細な歌声と、ビッグ・バ
ンドの躍動感あふれる演奏が
織りなすハーモニーは、きっと聴
く者の心を揺さぶるでしょう。



スペシャルゲスト May J.

[演奏]The Symphony Hall Big Band
[スペシャルゲスト]May J.

Let It Go
If It Ain't Got That Swing
異邦人
Spread Love ほか

2025. 3/27 (木) 6:00PM

全席指定 8,800円 18歳以下4,400円(税込)

[お問い合わせ]大阪アートエージェンシー 06-6372-4583

[主催]ザ・シンフォニーホール

先行予約: 11/21 (木) 一般発売: 11/24 (日)

「ミュージックディレクターの菊池
寿人は、「ビッグ・バンドの様々な
可能性を追求していく中で、ぜひ
共演したいと思っていました。
May J.さんの素晴らしい歌声
とビッグ・バンドのアンサンブルの
コラボレーションを楽しんで頂ぎ
たいと思います」と語ります。
ビッグ・バンドとの共演によっ
て、May J.の歌声がどのよう
に変化し、深化するのか。そして、
彼女の音楽が、ビッグ・バンドの演
奏とどのように融合していくの
か。その答えは、コンサート会場
でしか味わえません。ぜひ、この
貴重な機会をお見逃しなく！

(文 渡辺謙太郎)



ソプラノ・リリコの美しい歌声とバラエティに富むナンバーでお届けする最高に贅沢なクリスマス・コンサート

デビュー以来、ソプラノ・リリコの第一人者として多くのファンを魅了し続けている砂川涼子。チャーミングな容姿と人柄に惹かれる人はまだまだ数知れず。ヴェルディ、プッチーニなどイタリア・オペラからモーツァルトやコルンゴルトといったドイツもののヒロインを演じ人気を博してきたが、今年は日本オペラを代表する《タレバ》のつうとフランス・オペラの傑作《ファウスト》（グノー）のマルグリットを歌って絶賛された。きめの細かな瑞々しい真の「ベルカント」は香りたかく、役柄の幅の広さ含めますます芸風を広げているのは驚くばかりである。やはり今年リリースされたアルバム「日本歌曲のしらべ」でもどのナンバーにも心がゆきわたり、聴けば誰しもが虜となってしまうこと

だろう。使い尽くされた感のある言葉だが「癒し」と「救い」が砂川の歌にはある。悪魔に魂を売りわたしたファウストを愛しながらも最後には浄化され昇天する清らかなマルグリットに彼女が起用されたのにも納得がいく。

プッチーニのオペラ・アリアも登場する新機軸

さて、そんな砂川がクリスマスにあわせてザ・シンフォニーホールで開く3度目となるソ・リサイタルは多彩な内容が際立つものとなった。2020年にも取り上げて好評を博したルツィヤ・グノーの「アヴェ・マリア」をはじめ、モーツァルト「アヴェ・ヴェルム・コルプス」、ロイド・ウェッバー「ピエ・イエズ」などクリスマスの定番メロデーに加え、今年がアニバーサリーイヤー（没後100年）のプッチーニの傑作オペラ《ラ・ボエーム》からムゼッタのワルツ（私が街を歩けば）を披露するのが嬉しい。《ラ・ボエーム》のドラマ設定はクリスマスの時期なのでこの選曲はジャストフィットであるし、これまで同作では純情可憐なミニ役を披露してきた砂川がはずばで奔放なキャラクターのムゼッタをどう歌い演じるのかお

おいに注目したい。前述の《ファウスト》からのアリアも取り上げられるので、もうオペラ・ファンとしても必見必聴だ。

伴奏ピアノを務めるのは仲田淳也。指揮者でもあるだけにドライブ感には定評があり、砂川も今回の共演に期待しているというから、これまでにない新たな音楽の世界が生み出されるかもしれない。

ザ・シンフォニーホールが潤いのある美声で満ちる。カップルでもご家族でもご友人とでもお一人でも誰もがあたたかな気持ちになれる聖夜のコンサートだ。

（文 城間勉）



ピアノ 仲田 淳也

露するのが嬉しい。《ラ・ボエーム》のドラマ設定はクリスマスの時期なのでこの選曲はジャストフィットであるし、これまで同作では純情可憐なミニ役を披露してきた砂川がはずばで奔放なキャラクターのムゼッタをどう歌い演じるのかお

[ソプラノ]砂川涼子 [ピアノ]仲田淳也

《クリスマスの贈り物》

ルツィヤ：アヴェ・マリア／グノー：アヴェ・マリア／A.L.ウェッバー：ピエ・イエズ／モーツァルト：アヴェ・ヴェルム・コルプス／リー・ハーライン：星に願いを／ロルフ・ラヴランド：ユー・レイズ・ミー・アップ／グノー：歌劇「ファウスト」"宝石の歌"／プッチーニ：歌劇「ラ・ボエーム」"私が街を歩けば" 他

2024. 12/20 (金) 7:00PM

全席指定 4,400円(税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中

来日35周年記念コンサート with フレンズ フランチェスコ・ダルテーニャ



「テノール」

秋川雅史

Interview

イタリアの巨匠と
日本のスター歌手たちが集う
一期一会の饗宴

イタリアオペラのレジェンドと
日本のオペラスターたちの共演



[バス]フランチェスコ・ダルテーニャ

[ソプラノ]小川里美
©Taira Tairadate[テノール]樋口達哉
©Taira Tairadate

イタリア・オペラの神髄を知る伝説のバス歌手フランチェスコ・ダルテーニャ。パヴァロッティ、グルベローヴァ、アッパードらオペラの黄金時代の名匠たちと共演してきたダルテーニャは、大の親日家で初来日から35年目を迎える。この節目の年を記念して、日本のスター歌手、テノールの秋川雅史、樋口達哉、そしてソプラノの小川里美との共演でコンサートを開催する。《千の風となつて》で国民的人気を得た秋川は、近年はオペラの楽しさを伝える活動に注力し、二科展入選の腕前をもつ彫刻家としても知られている。ザ・シンフォニーホールにもしばしば出演してきた秋川にコンサートの抱負を聞いた。

4人の歌手による特別な化学変化がともなう楽しみ

——秋川さんにとって、ダルテーニャさんのような低い声の歌手の魅力はどんなところにありますか？

低い声、特にバスはとてもかっ

こいいですね。歌手仲間の集まりで、テノールが賑やかにしゃべっている時、バスがボソッと話すとても説得力があるんです。バスはしゃべり声からして違いますね。おなかにずっしりと響く声とでもいいますか。声の高さは声帯の長さ、体格で決まるので、天性のバスの方は少ないですね。ダルテーニャさんはイタリアの本格派のバスですが、同じバスでもイタリアとドイツの歌手は異なるように思います。ドイツのバスはとてもまろやかな響きが特徴ですが、イタリアのバスは声の中にギラギラと輝くものを感じます。ダルテーニャさんの声は映像で拝見しましたが、まさにそうしたイタリア的なバスですね。彼のような本物のバスをじっくり聴く機会は少ないですし、バスをクローズアップしたコンサートはとても貴重な機会になると思います。

——樋口さん、小川さんは「アツキーとの共演も本当に楽しみ」とおっしゃっていました。アツキーと呼ばれるようになったのは大学時代からです。自分でもとても気に入っていますので、ファンクラブでも「アツキー」を使っています。樋口さんとは20年くらいのお付き合いですが、人間的な魅力にあふれていて、まさにイタリアン（イタリア的）な方ですね。この7月に初めて樋口さんとのデュオリサイタルを開催しましたが、テノールとの共演は、若い頃のパッションを呼び覚ましてくれるんです。《千の風となつて》によって、39歳でみなさんにほくのことを知ってもらってからは、自然に歌えるようになりましたが、それ以前は何とかして自分の良さを知ってほしいと懸命になっていた時期がありました。

小川さんはもともと勉強家のソプラノではないでしょうか。客席から彼女の歌もしばしば聴かせていただいています。彼女の歌を聴くとそう感じます。スコアの読み込みもとても緻密な方ですね。ダルテーニャさんのようなイタリアの大歌手との共演も楽しみです。が、今回4人が揃うと、特別な化学変化が生じると思っていますので、わくわくします。

ブッチーニ・イヤーならではのプログラムにも期待！

——今年はブッチーニ没後100年イヤーですが、ブッチーニとヴェルディの違いはどんなところなのでしょう。オペラをあまり聴いていない方は、ヴェルディよりもブッチーニの方がすんなり入っているように思います。オーケストレーションの点でもブッチーニはとても聴きやすいですね。ただブッチーニは歌うとなると、技術的に非常に難しいんです。何度も歌っていますが、そのたびにチャレンジですね。今回ブッチーニ、ヴェルディなどが選曲されますが、樋口さんと一緒に歌うので、《トゥーランドット》の《誰も寝てはならぬ》は、二重唱になるかなと思います。また開催日がちょうどクリスマスイブなので、クリスマス夜の舞台にした《ラ・ボエーム》のロドルフォとミミの二重唱なども素敵ですね。バルマに留学していた時、3回クリスマススを体験したのですが、そのうち2回雪が降りたので、とても珍しく幸運な体験でした。今回はトークも入れて、ぜひ歌手の生の声も聴いていただきたいです。

——全国でコンサートを開催されていますが、大阪のお客様、そしてザ・シンフォニーホールの印象はいかがですか。

[バス]フランチェスコ・ダルテーニャ [ソプラノ]小川里美
[テノール]樋口達哉、秋川雅史 [ピアノ]藤原藍子

ブッチーニ：歌劇『トスカ』より 妙なる調和
ブッチーニ：歌劇『トゥーランドット』より 誰も寝てはならぬ
ブッチーニ：歌劇『蝶々夫人』より ある晴れた日に
ヴェルディ：歌劇『リゴレット』より 女心の歌
ヴェルディ：歌劇『ドン・カルロ』より 一人寂しく眠ろう ほか

2024.12/24(火) 7:00PM

全席指定 S 8,800円 A 6,600円 B 4,400円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]一般社団法人GOSMAC/ザ・シンフォニーホール

発売中

(取材・文 伊藤制子)

オールスター 紅白 オペラ 歌合戦 2024



〔テノール〕 近藤 勇斗

Interview

Hayato Kondo

関西クラシック界、
師走の風物詩「紅白オペラ歌合戦」はチケット好評発売中！

師走のザ・シンフォニーホールに、今年も関西所縁のオペラ歌手が集結。紅白に分かれて、オペラの名曲の数々を歌います。特に今回は、様々なパターンの重唱もしっかりと聴きいただきます。『カルメン』の盗賊団からレメンダード役を演じる、新進気鋭のテノール歌手近藤勇斗さんにお話を伺いました。

「紅白オペラ歌合戦」には2度目の出演となります。

1度目の時(2021年)は全く予期していない中で「紅白オペラ歌合戦」に選ばれたとの知らせがありました。そのことが、憧れのザ・シンフォニーホールの舞台上に立てることだとは、瞬時に理解できなかつたように覚えています。時間が経つにつれて周囲の反応も大きくなり、「これは大変な事になったぞ」と思い始め、本番では力が入り過ぎてしまいました。歌い終わった直後から「もう一度歌わせて欲しい！」と思っていたのですが、今回リベンジの機会を頂いて、とても光栄に思います。華やかな本番の舞台裏では、これまでお世話になった先生方や諸先輩方も優しく声を掛けてくださり、とても幸せな時間でした。

——今回はモーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」から第二幕のドン・オッターヴィオのアリアでしたが、今回は重唱ですね。メン

バーや聴き所を教えてください。

白組のトップバッターとして、ドン・オッターヴィオのアリア「恋人を慰めて」を歌わせていただきます。だが、今回は「カルメン」の第二幕、盗賊団の五重唱「うまい話がある」のレメンダード役を歌わせていただきます。この五重唱はとてもコミカルなシーンとして人気があります。フランス語の早口言葉は大変ですが、お客様には笑いながらも重唱の迫力を感じていただければと思っています。ご一緒にカルメン役の山崎さみ佳さんは、びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバーです。メルセデス役の伊藤絵美さん、フラスキータ役の野村瞳さんは関西二期会の所属。私の相棒ダンカイト役の中野嘉章さんは神戸市混声合唱団で、私は関西歌劇団と、このような機会でないとなかなか集まらない顔触れです。所属団体の壁を越えた素晴らしいアンサンブルにご期待ください。

——近藤さんご自身についてはいかがでしょうか。

私の声はテノールでも高めで、レジーエーロと呼ばれる声種になります。子供の頃、劇団四季に子役として出演していたこともあり、歌と同じくらいお芝居へのこだわりが強いです。オーケストラをバックに演じてみたい役は『愛の妙薬』のネモリーノ。31歳となり、歌手を生

業としてやっていく上で起こるいくつかの正念場と現在も対峙しております。「紅白オペラ歌合戦」に選んでいただいた喜びを糧に、これからも頑張らせていただきます。

——最後にお聴きくださる皆様へメッセージをお願いします。

今年の「紅白オペラ歌合戦」は、例年に無く重唱が多いのが特徴です。一人で歌うアリアも素敵ですが、やはりオペラの醍醐味は感情のぶつかり合いとも云える重唱にあると思います。今回は、あらゆるパターンの声の交わりを楽しんでいただける絶好の機会。ザ・シンフォニーホールで師走のひと時を、共に楽しく過ごしましょう。

(取材文 磯島浩彰)

〔紅組〕 齊藤言子、高嶋優羽、西田真由子、野々村瞳、畑友実子、水野智絵、四方典子、伊藤絵美、大賀真理子、十合翔子、田中友輝子、堀口莉絵、山際きみ佳

〔白組〕 田中 勉、秋本靖仁、小餅谷哲男、近藤勇斗、松本薫平、水口健次、伊藤友祐、下林一也、中野嘉章、西尾岳史

〔指揮〕 栗辻 聡 〔管弦楽〕 大阪交響楽団

2024.12/26(木) 6:30PM

全席指定 S 8,800円 A 7,700円(税込)

発売中

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール 【共催】公益社団法人 大阪交響楽団

【後援】一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

TheSymphonyHall 年末スペシャルコンサート

89
TheSymphonyHall
SuperBrass
ザ・シンフォニーホール スーパーブラス
Shidō × TheSymphonyHall

The Symphony Hall Super Brass × THE SOULMATICSS ゴスペル

〔指揮〕喜多弘悦

ブラスとゴスペルの最高峰、年末に一期一会の豪華共演が実現！

オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ（Shiori）のメンバーを中心に、関西を代表する名手も多数集結。そんな精鋭たちが、ザ・シンフォニーホールの秀逸な音響の中で名演を繰り広げるザ・シンフォニーホールスーパーブラス（TSHSB）は、2022年7月の始動から着実にファンを増やし続け、3年目も充実したシーズンを迎えている。

持ち前の輝かしくパワフルなサウンドは、通常のオーケストラよりも2〜3割増しになると言われており、そこにプロジェクションマッピングの美しく刺激的な視覚効果も加わるため、唯一無二の感動体験となつて多くの聴き手を魅了している。

そんなTSHSBを立ち上げから指揮し続けているのは、ザ・シンフォニーホール音楽監督の喜多弘悦。中学から高校時代にかけてブラスバンドの打楽器奏者を務めた後、アメリカのジュリアード音楽院に留学し、打楽器だけでなく、指揮や音楽理論も本格的に学んだ。帰国後に学生とプロ奏者の混成ビッグバンドを立ち上げたが、この時の同僚だったプロ奏者たちが、TSHSBの結成と運営に尽力してくれているそうで、そうした友情や信頼が揺るぎないサウンドの原動力になっているのだらう。

TSHSBは、2024年の年末に待望のスペシャルコンサートを開催。共演相手には、日本有数のゴスペル歌手で、教育者としても長年

活躍する池末信のプロデュースにより、東京、大阪、福岡ベースとして、国内はもとより海外でも高く評価されるゴスペルグループ、THE SOULMATICSS（ザ・ソウルマティックス）が選ばれた。

彼らは、06年にニューヨークの黒人音楽の殿堂アポロシアターで東洋人のゴスペルグループとして初めてメインゲストを務めた他、ゆず、DREAMSCOMETRUE、三代目J Soul Brothersなどのコーラスにも多数参加。現代ゴスペルを500曲以上レパートリーに持ち、年間に500本以上のライブやイベントに出演する超実力派だ。

このような足跡から、「黒人の声を持つ新しい日本人のグループ」と称えられるTHE SOULMATICSS

今年で3回目となるザ・シンフォニーホールでのゴスペルコンサートを開催できることを、大変嬉しく思います。ゴスペルの名曲を、素晴らしいオーケストラと共に、この最高の会場で、音楽を愛する素晴らしい皆様とともに楽しむことは、私たちにとっても特別な体験となっています。皆様の笑顔、手拍子、そして感動の涙に、再びお会いできることを心から楽しみにしております。



「THE SOULMATICSS ディレクター」
池末 信

〔指揮〕喜多弘悦 〔演奏〕The Symphony Hall Super Brass
〔ゴスペル〕池末 信 × THE SOULMATICSS

クリスマス・キャロル／聖者の行進／翼をください／「天使にラブソングを」より
「Joyful, Joyful」 「Ain't no mountain high enough」
「Oh Happy Day」 ほか

2024. 12/29 (日) 3:00PM

全席指定 S 6,600円 (S 高校生以下 (4~18歳) 3,300円) A 4,400円 (税込)

※4歳のお子様からご入場いただけます ※プロジェクションマッピング付き

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中



と、TSHSBが邂逅する今回の豪華共演。予定演目には「クリスマス・キャロル」「聖者の行進」「翼をください」「天使にラブソングを」など、年末の華やきにこの上なくふさわしい名曲がたっぷりと並ぶ。また、池末と喜多は長年の盟友ということもあり、阿吽の呼吸から生まれる一期一会の演奏を全身で堪能しよう！

（取材・文 渡辺謙太郎）

謹賀新年特集

1/1 (水)
3:00pm開演

The Symphony Hall ニューイヤーコンサート 2025

[指揮]ミコラ・ジャジュラ
[スペシャルゲスト]錦織 健
[ソプラノ]リリア・グレヴツォヴァ
[メゾ・ソプラノ]アンジェリーナ・シヴァチカ
[管弦楽]ウクライナ国立歌劇場管弦楽団

J.シュトラウス2世:喜劇「こもり」序曲／ブッチーニ:
歌劇「ジャンニ・スキッキ」より私のお父さん／ビゼー:歌
劇「カルメン」よりハバネラ(恋は野の鳥)／レハール:喜
劇「微笑みの国」より君は我が心の全て☆／J.シュ
トラウス2世:ワルツ「ウィーン気質」ほか

1/3 (金)
2:30pm開演

ニューイヤー 祝祭コンサート PART1

[指揮]守山俊吾 [スペシャルゲスト]針山愛美
[ソプラノ]中村あゆみ、末廣亜矢子 他
[バレエ]藤村咲久良、吉川真子
[管弦楽]ニューイヤー祝祭オーケストラ
[合唱]まごころ第九合唱団

「キャンディー」より 着飾ってきらびやかに／「ウェストサイドストーリー」よりハッ
イト(デュエット)、マリア／ヴェルディ:オペラ「運命の力」より「神よ平和を与えたま
え」／サン＝サーンス:オペラ「サムソンとデリラ」より「貴方の声に私の心は開く」／
オペラ「魔々夫人」より「ある晴れた日に」、村松宗樹「命の奇跡」／オペラ「魔の的」
より「生と死」／モロゾフ:ヴァイオリン協奏曲 第2番 イ長調 1楽章／モーツァ
ルト:ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K.488 第1楽章／ショパン:ピアノ協奏曲 第1番
ホ短調 op.11 第1楽章／ブッチーニ:歌劇「魔々夫人」より第2幕2場より／チャイ
コフスキー:バレエ「くるみ割り人形」より金平糖の踊り／J.シュトラウスII:春の声／チャ
イコフスキー:バレエ「眠れる森の美女」より オーローラのヴァリエーション 他

1/8 (水)
6:00pm開演

ニューイヤー 祝祭コンサート PART2

[指揮]守山俊吾 [バレエ]カンパニーでこぼこ
[管弦楽]ニューイヤー祝祭オーケストラ
ピアノ、ヴァイオリン、オペラのソリストたち

モーツァルト:ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K.488 第3楽章／モーツァ
ルト:ピアノ協奏曲 第21番 ハ長調 K.467 第3楽章／ショパン:ピアノ協奏
曲 第1番 ホ短調 op.11 第2楽章／ドヴォルザーク:ロマンス ヘ短調
op.11／ベートーヴェン:ロマンス第1番 ト長調 op.40／ドヴォルザーク:
オペラ「ルサルカ」より「月に寄せる歌」／A.トマ:オペラ「ハムレット」より私
も遊びの仲間に入れてください／A.ボンキエリ:オペラ「ラジココンダ」より
「天使の声か」／ジョルターノ:オペラ「アンドレア・シェニエ」より「亡く
なった母を」／ベッリーニ:オペラ「カプリ・ディ・タイタ」とモンテッキ家より「あ
あ幾たびか」／ラヴェル:ボレロ／J.シュトラウスII:美しき青きドナウ 他

1/9 (木)
6:30pm開演

New Year Concert ～ 愛の喜びと悲しみ、～ それは音楽の歓び

[指揮]守山俊吾
[管弦楽]シンフォニア・アルシスOSAKA
ピアノ、ヴァイオリン、オペラアリア、
ヴォーカルのソリストたち

モーツァルト:ピアノ協奏曲第23番 イ長調 K.488 第2楽章／
ヘンデル:オペラ「リナルド」より「私を泣かせてください」／「君を
のせて」／ヘンデル:オペラ「セルセ」より「オンブラ・マイフ」／
モーツァルト:オペラ「フィガロの結婚」より「もう裁判に勝った
と?」／モーツァルト:オペラ「魔笛」より「この聖なる殿堂では」／
ロッシーニ:「セヴィリアの理髪師」から「中傷はそよ風のように」
／ベッリーニ:「清教徒」より「ラッパを吹きなせ」／「サウンド・オ
ブ・ミュージック」より「何かよいこと」／帰れソレントへ／メンデ
ルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64 第1楽章 他

1/10 (金)
7:00pm開演

ハリウッド フェスティバル・ オーケストラ ニューイヤーコンサート!

[指揮]ロイド・バトラー
[ゲスト歌手]ビリー・キング
[管弦楽]ハリウッド フェスティバル・オーケストラ

風と共に去りぬ
インディ・ジョーンズ
ローマの休日
モダン・タイムズよりスマイル ほか

1/11 (土)
2:00pm開演

21世紀の新世界

[指揮]瀬山智博
[ピアノ]松田華音(★)
[管弦楽]関西フィルハーモニー管弦楽団

チャイコフスキー:歌劇「エフゲニー・オネーギン」より「ボ
ロネーズ」／チャイコフスキー:ピアノ協奏曲 第1番 変ロ
短調 op.23(★)／ドヴォルザーク:交響曲 第9番 ホ短調
「新世界より」 op.95

1/12 (日)
1:30pm・5:00pm開演

大阪交響楽団 第135回名曲コンサート

[指揮]高橋直史
[ソプラノ]竹多倫子♥
[テノール]大槻孝志♠
[管弦楽]大阪交響楽団

ワーグナー:「タンホイザー」より 序曲
マスカーニ:「カヴァレリア・ルスティカーナ」より 間奏曲
ブッチーニ:「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」♠
ヴェルディ:「ナブッコ」より 序曲「運命の力」より「神よ平
和を与えたまえ」♥ ほか

1/13 (月・祝)
2:00pm開演

日本センチュリー交響楽団 第287回定期演奏会

[指揮]飯森範親
[ピアノ]マティアス・キルシュネライト
[管弦楽]日本センチュリー交響楽団

ハイドン:ピアノ協奏曲 二長調 Hob. XVIII:11
メンデルスゾーン:ピアノ協奏曲 第1番 ト短調 op.25
ラヴェル:亡き王女のためのパヴァーヌ(管弦楽版)
マ・メール・ロワ(バレエ版)、ボレロ



守山俊吾 2025 新年公演

SHUNGO MORIYAMA



2025年 新春を華やかに彩るニューイヤーコンサート

2025
1/3

ニューイヤー祝祭コンサート PART 1

1月3日に10回目を迎える「ニューイヤー祝祭コンサート」は、お客様への感謝と愛情、そして「おもてなし」溢れるプログラムを皆様にご用意しました。

オペラアリアは、アメリカからバインスタインの「ウエストサイドストーリー」「キャンディード」、フランス・オペラはサン＝サーンスの「サムソンとデリラ」、イタリア・オペラはヴェルディの「運命の力」、そしてヨーロッパ公演で話題となった日本オペラ「扇の的」をラインアップし、それぞれの国のオペラ文化をお楽しみ頂けるようにしました。

コンサートの最後を飾るプログラムは、作曲されて200年目を迎えたベートーヴェンの交響曲No.9「合唱付」を201年目の第一歩として謳われます。ウクライナ・リヴィウ歌劇場のバレリーナと教師達の避難先へ受け入れた針山愛美が、2023年8月ウクライナ独立記念日のコンサートを演出・構成。友情出演したソリストたちが、ベートーヴェンの「人間愛」を合唱の皆さんと「フロイデー」と謳います。

2025年は平和で思いやりに満ちた世界を迎えられるようこ

[指揮] 守山俊吾 [スペシャルゲスト] 針山愛美
[ソプラノ] 中村あゆみ、末廣亜矢子 他 [バレエ] 藤村咲久良、吉川真子
[管弦楽] ニューイヤー祝祭オーケストラ [合唱] まごころ第九合唱団

「キャンディード」より 着飾ってきらびやかに、「ウエストサイドストーリー」よりトウナイト(デュエット)、マリア／ヴェルディオペラ「運命の力」より「神よ平和を与えたまえ」／サン＝サーンスオペラ「サムソンとデリラ」より「貴方の声に私の心は開く」／オペラ「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」、村松宗雄「命の奇跡」／オペラ「扇の的」より「生と死」／モーツァルト協奏曲 第23番 イ長調 1楽章／モーツァルトピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K.488 第1楽章／ショパンピアノ協奏曲 第1番 赤短調 op.11 第1楽章／プッチーニ歌劇「蝶々夫人」より 第2幕2場 より／チャイコフスキーバレエ「くるみ割り人形」より金平糖の踊り／J.シュトラウス春の声／チャイコフスキーバレエ「眠れる森の美女」より オーロー姫のワリエーション 他

2025. 1/3 (金) 2:30PM

全席指定 S 6,000円 A 5,000円 B [高校生以下] 2,000円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] 国際交流協会

発売中

コンサートの収益金は、全て石川・能登半島の被災地の皆さんにお役立て出来るように寄付させて頂きます。ベルリンの壁崩壊の契機となったハンガリーの洞窟劇場で開催された「ヨーロッパ国際第九自由への道」や、リヴィウの教会内での第九、出雲大社神楽殿での奉納第九等多くの音楽での社会活動が認められ、2024年4月、アメリカニューヨークで表彰された守山俊吾が10回のコンサートを支えて下さった皆様に感謝を込めてお贈りします。

2025
1/8

ニューイヤー祝祭コンサート PART 2

ウィーンでのニューイヤーコンサートを感じさせるバレエ入りの円舞曲「美しく青きドナウ」は、多くのお客様の間で好評であり、オペラアリアだけでなくインストルメンタル(ヴァイオリンとピアノ)の演奏もお楽しみ頂けます。

オペラアリアは、チェコのドヴォルザークの名オペラ「ルサルカ」からフランスオペラはトマの「ハムレット」、イタリア・オペラではベッリーニの「カプリチーティ家とモンテッキ家」等の有名なアリアでお楽しみ頂けます。ヴァイオリンはボヘミアンの薫り豊かなドヴォルザークホール秀作「ロマンス・スヘ短調」、ピアノの作品としては、モーツァルトのピアノな音楽と日本人が最も愛するポーランドが生んだピアノの詩人ショパンの「協奏曲 第1番」よりをお楽しみ頂けます。

バレエは、「第一回ニューイヤー祝祭コンサート」からお客様に楽しんで頂いている協働力が率いるカンパニーでこぼこが出演。

今回も「エスメラルダ」のパ・ド・ドゥ、そしてラヴェルの不朽の名作「ボレロ」。ローザンヌ国際バレエコンクールで入賞後にアメ

[指揮] 守山俊吾 [バレエ] カンパニーでこぼこ 他
[管弦楽] ニューイヤー祝祭オーケストラ

モーツァルトピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K.488 第3楽章／モーツァルトピアノ協奏曲 第21番 ハ長調 K.467 第3楽章／ショパンピアノ協奏曲 第1番 赤短調 op.11 第2楽章／ドヴォルザーク・ロマンス ヘ短調 op.11／ベートーヴェンロマンス第1番 ト長調 op.40／ドヴォルザークオペラ「ルサルカ」より「月に寄せる歌」／A.トマオペラ「ハムレット」より 私も遊びの仲間に入れてください A.ボンキエツリオペラ「ラジョコンダ」より「天使の声」／ジョルダン・オペラ「アンドレア・シェニエ」より「亡くなった母を」／ベッリーニ・オペラ「カプリチーティ家とモンテッキ家」より「ああ幾たびか」ラヴェル・ボレロ／J.シュトラウス美しく青きドナウ 他

2025. 1/8 (水) 6:00PM

全席指定 S 6,000円 A 5,000円 B [高校生以下] 2,000円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] 国際交流協会

発売中

リカからイギリスのバレエ団に活躍の場を移し、「ウエスタン・シンフォニー」でセンターを務めた協働優が、前回と同様に多くのバレエファンを魅了したその姿を再現します。

第一回目からブラボーと拍手を下さり、コロナ禍で多くのコンサートが中止になる中でも欠かさず、お運び下さった多くのお客様に心から感謝し、これからも変わらず応援して頂けるようお願いし、心から演奏させて頂きます。

ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ ニューイヤーコンサート! HOLLYWOOD FESTIVAL ORCHESTRA



ロイド・バトラー Lloyd Butler

Interview

2025年の新年賀に、
映画の名シーンの感動を本場アメリカから
スター演奏家集団がお届け。



——2023年のニューイヤーコンサート以来ですね。ザ・シンフォニーホールのお客さんも待ちわびておりました!

(※前回覚えたという関西弁で)「おおきに(笑)。またあの美しいホールに戻ることができて、沢山の皆さんに迎えられる自分を想像すると嬉しくてたまりません。今回もファンタスティックな夜をお約束します!

——アトランタ交響楽団やピッツバーグ交響楽団への客演やミュージカルの演奏、イル・ディーヴォやケルティック・ウーマンとのコラボなど、世界をまたにかけて活躍されているあなたにとって、この映画音楽コンサートにける意気込みは?

おかげさまでいろいろなとオファーをいただきますが、映画と音楽が両方とも大好きな自分にとって、最高の仕事のひとつです。『ジョーズ』や『インディ・ジョーンズ』『E.T.』といったステイヴン・スピルバーグ&ジョン・ウィリアムズの、黄金コンビ作品を観て



[ゲスト歌手] ビリー・キング

育ったので、これらのテーマ曲を指揮しているといつも子ども時代に戻ったような気分になるんです。

映画音楽の持つポテンシャル

——今回も非常に多彩なラインナップですね。『風と共に去りぬ』や『ロッキー』のような懐かしの名画から『ミッション・インポッシブル』や『ジュラシック・パーク』のような大スケタルのアクション大作、そしてオードリー・ヘプバーンとチャップリン・チャップリンにフォーカスした特集もある。

とにかく映画音楽は幅が広いのです。例えば『カサブランカ』のような40年代の作品と『トップ・ガン』のような80年代の作品では劇中での音楽の使い方もかなり違ってきますよね。このコンサートではスクリーンミュージックの変遷、響きの変化などにも注目して聴いてもらえるようにプログラムを組んであります。

——音楽が映画にとっていかに大切なものであるかを体験できる夜にもなりそうです。

以前、東京でのコンサートで西部劇の『駅馬車』(1939年ジョン・フォード監督)を先ず音楽なしの状態で見ると、その後で音楽を付けて上演するというレクチャーを行ったのですが、お客さんの反応は一目瞭然でした。恐らくスピルバーグ監督の作品を音楽なしとありとで観比べてみても結果は同じだろうと思います。しかもどんなに映画館のサウンド・システムが立派でも、生のオーケストラによるライブ演奏に勝るものはありません。

——つまり、ハリウッド・フェスティバルオーケストラの魅力は?

ひとりひとりが私と同じように映画と映画音楽に愛情を抱き、情熱を持って演奏できる団員の集まりであること。しかも公演を重ねる度に進化していつていることです。

ヘプバーンとチャップリンの世界

——『ローマの休日』の音楽、『シャレード』のテーマ、そして『ムーン・リヴァー』(ティファニーで朝食を)という、全くタイプの異なる楽曲がヘプバーン、繋がりで大集合するのも圧巻ですが、もうひとつの特集『チャップリン名曲集』では映画『独裁者』で使用されたブラームスの「ハンガリー舞曲第5番」まで登場するとか。

劇中の有名な床屋での髭剃りシーンを、実際に会場のスクリーンを映しながら「ハンガリー舞曲」の演奏とぴったりシンクロさせてお届けする予定です。タイミングを合わせるのが至難の業ですが、今回の目玉として挑戦したいと思っています。もちろん、ジャズのスタンダード・ナンバーとしても有名な名曲「スマイル」(『モダン・タイムズ』より)の方も楽しみに。

スクリーンを彩る主題歌

——そしてゲスト歌手であるビリー・キングさんの歌唱もこの企画の大きな聴きどころですね。

素晴らしいヴォーカリストであり、とにかく愉快で素敵な友人。今回は『慕情』の主題歌や「スタン・バイ・ミー」などを甘くロマンティックに囁くようなクルーナー・スタイルで、時にエモーショナルに歌い上げてくれることでしょう。ご期待ください。

——年が明けるのが待ち遠しいです。ぜひ、新春の大阪を楽しんでください。

また「たこやき」食べますよ! 日本には各地にユニークで美味しい食べ物があって、それを堪能できるのがツアーの喜びですね。では、1月にお目にかかりましょう。(取材文 東端哲也 (通訳 貴名由花))

[指揮]ロイド・バトラー [ゲスト歌手]ビリー・キング
[管弦楽]ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ

《懐かしの名作》風と共に去りぬ/慕情/ロッキー 《ハリウッド大作》インディ・ジョーンズ/ミッション・インポッシブル/ジュラシック・パーク/タイタニック 《オードリー・ヘプバーンの世界》ローマの休日/シャレード/『ティファニーで朝食を』より『ムーン・リヴァー』 《チャップリン名曲集》『モダン・タイムズ』より『スマイル』/『独裁者』より『ハンガリー舞曲第5番』(ほか予定)

2025.1/10 (金) 7:00PM
全席指定 S 10,000円 A 8,000円(税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中



オルガン名曲決定版 2025

りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館
第5代専属オルガニスト「オルガン」はまのかすみ
濱野芳純

Interview

今もっとも注目の新鋭オルガニスト

濱野芳純、待望の大阪デビュー

Kasumi Hamano



「がすみん」の愛称ではやくもファンの急増中のオルガニスト・濱野芳純。アムステルダム音楽院、トゥールーズ音楽院で学び、ハイレヴェルで知られる第9回武蔵野国際オルガンコンクール3位受賞をはじめ、メシアンコンクール第4位ほか、数々の受賞歴を誇り、今後の躍進がもっとも期待されている新鋭である。2024年4月にリユートピア新潟市民芸術文化会館の専属オルガニストに就任したばかりだが、その華麗な演奏で新潟のファンに親しまれている存在だ。次代を担う注目のオルガニストの濱野が2025年5月、ザ・シンフォニーホール・デビューを飾る。

オルガンの魅力に目覚めた大学時代
—— 濱野さんは関西学院大学在学中にオルガンを始められたと伺っています。

ピアノは幼い頃から習っていてずっと続けていましたが、音楽家になろうとは思っていませんでしたね。関西学院はキリスト教系の大学だったので、オルガンがあり、学生のチャペル・オルガニストの募集がありました。面白そうだと、応募

したのがオルガンとの出会いです。2回生の頃にはすでにオルガンの魅力にどっぷりはまり、本格的に勉強したいと考えていましたので、留学の準備も始め、4回生の後期に留学しました。関西学院で習っていたオルガニストの坂倉朗子先生は、鈴木雅明さんの弟子で、アムステルダムでも勉強した方です。それで僕もまずアムステルダム音楽院を留学先に選びました。当初は家が

決まらないなど少し苦労しましたが、4年間、音楽だけではなく、歴史など一般教養も学び充実した時間でした。その後少しブランクを経て、フランスのトゥールーズ音楽院でも一年ほど勉強しました。オルガニストにとって、素晴らしいオルガンが多数存在しているトゥールーズはほんとうに魅力的な町ですね。音楽院に各教会のオルガンの鍵があり、学生は鍵を借りて教会のオルガンを自由に弾くことができたのも貴重な体験でした。

—— 今回のプログラムはバッハの名曲も含む、多彩なプログラムですね。

オルガニストにとって、ホールは教会よりも残響が少ないので音響面で慣れることが必要になりますし、オルガンは楽器によって仕様が大変異なるので、まずストップのリストをいただき、そ

れをもとにどんな響きをつくりあげるか考えているのは大切な作業になります。リハーサルもレジストレーションに費やす感じですね。また足鍵盤も楽器によって異なるのでその場で確認します。

今回のプログラムはオルガンの魅力を知っていただけるようなものになっていると思います。バッハの《トッカータとフーガ》は誰もが知る名曲ですし、非常に演奏効果が高い曲ですね。また《主よ人の望みの喜びよ》は、おなじみの美しい旋律が特徴です。またフランスの《前奏曲、フーガと変奏曲》は派手さはないのですが、とても厳かな響きが際立ち、ばくもとても好きな曲のひとつです。メシアンなどのフランス音楽もレパートリーにしていますが、フランスのオルガン作品の特徴は、ストップの変化が大きく、響きが非常に多彩なところではないでしょうか。

素晴らしいホールで演奏できるのは楽しみです

—— 京都のご出身ですが、大阪そしてザ・シンフォニーホールの印象はいかがですか。

祖母が吹田市在住なので、大阪にはとても親しみがあります。車で京都から大阪へ高速を乗って向かうと、突然、太陽の塔が見えてくるのがとても鮮烈で、大阪に来たんだという気分になりますね。ザ・シン



フォニーホールでは8年ほど前、フランスのピアノニストのエレーヌ・ゲリモーのリサイタルを聴きました。ホールは音響がとてすばらしく、残響もちょうど良くて、ピアノの音がはっきりと綺麗に聴こえたことをよく覚えています。また関西学院大は毎年12月にクリスマスコンサートを開催して、ザ・シンフォニーホールで開催していて、ばくも聴きに行ったことがあります。このときは合唱が主体の公演だったのですが、ホールのすぐれた音響もとても印象に残りました。

—— 濱野さんのコンサートを楽しむにされているファンの皆さんに一言お願いします。

大阪の一等地、中心にあるとても伝統のあるホールで、そして素晴らしいオルガンの名器で、リサイタルを開催できることをとてもうれしく思っています。ザ・シンフォニーホールでは、以前からオルガンコンサートが盛んにおこなわれていて、

【オルガン】りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 第5代専属オルガニスト 濱野芳純

ブクステフーデ：前奏曲 二長調 BuxWV139
バッハ：オルガン協奏曲 第2番 イ短調 BWV593
バッハ（デュリュフレ編）：主よ人の望みの喜びよ BWV147
バッハ（デュリュフレ編）：カンタータ 第29番「神よ、われ汝に感謝す」より シンフォニア
バッハ：トッカータとフーガ 二短調 BWV565
フランク：前奏曲、フーガと変奏曲
ヴィドール：トッカータ

2025.5/17(土) 2:00PM

全席指定 2,750円(税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行：11/21(木) 一般発売：11/24(日)



「ヴァイオリン」諏訪内晶子

丸みを帯び、ロマンチックで温かいドイツの音がする。

——ケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団の特徴や魅力を教えてください。

ケルン・オペラのオーケストラでもあるので、非常に反応が早いところの魅力です。ただ走り続けるだけで細かい変化に注意を払わないオーケストラを、私は「ロールス・ロイス・オーケストラ」と呼んでいるのですが(笑)、そういう楽団とは全く異なり大きな室内楽団のような反応があつて非常におもしろいです。

またドイツのオーケストラの伝統的な音色を持っています。メンバーは国際的ですが、彼らの多くはドイツで学び活動してきた人たちなので、ドイツの演奏方法の影響が強いでしょう。金管楽器など典型的で、丸みを帯び、ロマンチックで温かいドイツの音がします。

例えるなら、最高品質のオリーブオイルのようです。彼らの演奏を聴くと、温めたエクストラ・バージン・オリーブオイルでオイルマッサージを受けているような心地よさが感じられると思います！

——初めて共演した時の印象はいかがでしたか？

初共演は2023年の3月でしたが、彼らは温かく私を迎えてくれて、お互いに良い感触がありました。音楽的にハイレベルなうえ、とても熱心なので、日本のみなさんも間違いなく喜んでくれると思います。

——オラモさんが心地よさを感じるのは、どんなオーケストラですか？

私が好きなのは、途中で痺れを切らしたり苛立ちを表すことなく(笑)、熱心に細部までリハーサルをすることを厭わないオーケストラです。それを続けているうち、オーケストラが「この指揮者は我々を真剣に受け止めてくれている」と理解し、互いに平和を感じる瞬間があるのです。これはまさに、私がケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団と初共演したときに起きたことでした。

——ブルッフのヴァイオリン協奏曲では、諏訪内晶子さんをソリストに迎えます。諏訪内さんからは「オラモさんはとても信頼できる人。」とコメントを頂いています。

彼女とは20年以上前にバーミンガムで録音を一緒にすることがあります。今回はとても久しぶりの共演なので、楽しみです！

交響曲第5番は、マーラーが束の間自分を見つけた時の音楽

——後半に演奏するマーラーの交響曲第5番からは、どんなことを感じますか？

第5番を書いた頃の彼は、アルマという特別な女性と結婚し、内面的な平和や喜びを見つけていました。神経質かつ心配性で、世の中の情勢を気にするマーラーにとって、彼女は精神的な均衡を保つために必要な存在だったのでしよう。

第5番は幸せだった瞬間の音楽ですが、それが葬送行進曲で始まるというのが、彼の典型的な矛盾です。第2楽章では大噴火が起き、終わりに向かう中で一縷の救いも感じられます。スケルツォ楽章ではフレンチホルンが多用されますが、私の個人的な解釈では、これは突然自信をつけたマーラーを表していると思っています。

続く有名なアダージエットは、アルマへの愛の歌です。テンポについてはいささざまな考え方がありますが、私はおそらく多くの指揮者たちより少し速く演奏すると思います。すべての指揮者に自分の解釈で音楽をする権利があり、マーラー自身も「好きなようにやれ、ただ私の音楽を尊重すればよい」と言っていました。この楽章を非常にゆっくりに演奏すれば、それだけで音楽に敬意を払っている気になれるかもしれません、私はそこに表現され

た人生を、歌うのに、途中で息が切れない程度の速さで演奏する必要があります。そして終楽章は、全ての彼の交響曲の中で最も幸せな楽章です。愛する女性と結婚できた喜びとともに、勝利の興奮の中で閉じられます。彼はこうして第5番ですつと探していた自分自身を見つけています。が、それはほんの束の間のことです。ほどなく第6番の交響曲を書き、自らその全てを破壊してしまうのですから。マーラーの交響曲は、彼の自伝的な連作だと私は思っています。

——ザ・シンフォニーホールや大阪の印象はいかがですか？

何度か舞台に立ちましたが、素晴らしいコンサートホールだという印象があります。知らない街を訪ねると、自由な時間を見つけては、行き先を決めず、地元の人に溶け込みながら歩き回ることが好きです。以前大阪を訪れたときは、とても大きな川を渡って散歩したことが記憶に残っています！

——最後に大阪のお客様にメッセージをお願いします。

日本の聴衆は、いつも注意深く音楽に耳を傾けてくれて、音楽を本当に愛していることが伝わってきます。音楽を作るために必要なものを与えてくれるのは、そんな



©Benjamin Ealovega

ケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団 Gürzenich Orchestra Köln 大阪公演

〔指揮〕サカリ・オラモ Sakari Oramo Interview



みなさんの存在です。今回は、美しいザ・シンフォニーホールでケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団と共に音楽をお届けできることを楽しみにしています。

(取材：文 高坂はる香)



©Holger Talinski

〔管弦楽〕ケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団

〔指揮〕サカリ・オラモ 〔ヴァイオリン〕諏訪内晶子
〔管弦楽〕ケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団
※都合により当初発表の指揮者から変更になりました。

ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 op.26
マーラー：交響曲 第5番 嬰ハ短調

2025.2/11(火・祝) 3:00PM

S 22,000円 A 19,800円 B 15,400円(全席指定 税込)

発売中

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
【主催】ザ・シンフォニーホール



【指揮】現田茂夫
©K.Miura

——ロシアものを得意とされる上原さんですが、今回の「熱狂」はブラームスですね。
ブラームスの1番は2回目になります。幼い頃からロシアものを多く勉強し、ベートーヴェンやブラームスを弾くことはあまりなかったのですが、自信がありませんでした。川久保陽紀さんとブラームスのヴァイオリンソナタを弾くなど、機会を得て試行錯誤をし、以前より分厚い音が出るようになったと思います。初めて1番を弾いた2019年の頃から少しは成長したと感じられる内容になればと、今から演奏会を楽しみにしています。

——ブラームスの協奏曲には、どんな印象をお持ちでしょうか？
スケールが大きく、シンフォニーのような大きな目線を保ちながら、曲が進んでいきます。オーケストラの音の中に、いかにきれいに交ざるかが大事。オケの一部としてピアノが聞こえてくるといちばんよく、年齢や経験を積み重ねたからこそできることかと思ひます。

——チャイコフスキーコンクール優勝から20年超。若い方との共演も増えてきました。
オケのコンサートマスターのみならず、指揮者も年下ということもあり、いつの間にかという感じで（笑）。私は皆にフォロワーしてもらってきた人間なので、年齢関係なく、引っ張っていただくところは引っ張っていたくつもりでやっています。今回、南さんと佐藤さんとは初めてお会いするので楽しみです。指揮の現田さんとは長い付き合いになります。オケのようには弾いても拾っていただけの頼もしさがあります。ブラームス

——今後の目標、ピアニストとしての理想像を教えてください。
体力のあるうち、弾きたい曲は早めに弾いておきたいと思うようになりました。ベートーヴェンのソナタの後、手に優しくないのですが、できればスクリーバーンに取り組んでみたいと思います。年齢を重ねても弾きたい曲を弾ける技術を保つのは難しいかもしれませんが、できればいちばん楽しいかなと思います。

——最後にお客様へのメッセージをお願いします。
ソリストの楽器も違い、年齢も幅広く、1回のコンサートでさまざまな感じ方のできる音楽をお届けできる機会かと思ひます。音楽のよさは答えが一つでないところ。自

【指揮】現田茂夫 【ヴァイオリン】南 紫音 【チェロ】佐藤晴真
【ピアノ】上原彩子 【管弦楽】日本センチュリー交響楽団

ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 op.26
シューマン：チェロ協奏曲 イ短調 op.129
ブラームス：ピアノ協奏曲 第1番 二短調 op.15

2025.2/24 (月・休) 2:00PM
全席指定 S 7,700円 A 6,600円 B 5,500円 (税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中



【管弦楽】日本センチュリー交響楽団

© 井上嘉和

由な気持ちで、それぞれの音楽を楽しんでいただけたらうれしいです。
(取材文 最上聡)



熱狂コンチェルト 2025 Concerto



【ヴァイオリン】南 紫音



【チェロ】佐藤晴真

© Kei Uesugi

© Seiji Saito

[チェロ]

宮田 大

[ピアノ]

福間洸太郎

Interview
後編

DAI MIYATA × KOTARO FUKUMA

デュオリサイタル

人気奏者によるデュオがついに
ザ・シンフォニーホールに登場！

© 鈴木久美子



宮田 2番を弾いていると「なぜならば」とか「そうであるならば」とか、そんな言葉を吐いているみた
いなかんじがするのは僕だけ？(笑)

福間 今回初めて演奏します。面白
いと思ったのは2楽章形式で
第1楽章がとても長いという構
成。付点音符も特徴的で、初期の
作品なのに晩年のピアノ・ソナタ
に近いものがみられるのも興味
深い。

—— 前回はリサイタル後半の目玉
となるショパンの「チェロ・ソナ
タ」について語っていただきまし
たが、前半に演奏予定のベートー
ヴェンの「チェロ・ソナタ」につい
てもぜひ。ところで今回、広く知
られている第3番じゃなくて第2
番なのですね。

宮田 2番が大好きなんです！そ
の時の演奏者の感じ方次第でまる
でオペラみたいに、恰幅のいい紳
士が登場したり軽やかな女性が出
てきたりと、様々なストーリーを
紡ぎ出せる面白さがある。

福間 いずれにしても大くんとこ
の曲に挑むことができて嬉しい、
室内楽の醍醐味である対話が楽し
めるから。今後も二人で共演を重
ねていきたいです。

—— リサイタルの冒頭を飾る「魔
笛」の主題による7つの変奏曲」も
ベートーヴェンがそんなお二人の
ために書いてくれた曲ですね。

宮田 モーツァルトはチェロのた
めに名曲を書いてくれなかったけ
れどこれなら天才作曲家・二人の
いいところを一気にいただける。

福間 後半の冒頭がショパンの「華
麗なる変奏曲」なのでいい対比に
なっていると思います。パリに來
て間もない頃のショパンが、当時
流行っていたエロルドのオペラ
《リュドヴィク》の旋律を主題にし
て書いた曲なので。

宮田 オペラを基にした作品が前
半と後半の頭なんだね！
福間 今、気が付いたの(笑)

—— お客さんもお二人が揃ってス
テージに立つのを指折り数えてい
ることでしょう。

福間 また例の、舞台の床をコンコ
ンって叩いて位置決めをするの？
宮田 ホールの隅々まで良い音を
届けるためにも、チェロには床の
存在がとても大切なので、デュオ
で演奏するための理想のポジショ
ンを探そうと思っています。

[チェロ]宮田 大 [ピアノ]福間洸太郎

ベートーヴェン:「魔笛」の主題による7つの変奏曲 変ホ長調 WoO 46/7
ベートーヴェン:チェロ・ソナタ 第2番 ト短調 Op. 5-2
ショパン:華麗なる変奏曲 op.12 (ピアノソロ)
ショパン:チェロ・ソナタ ト短調 op.65

2025.3/15(土) 2:00PM

全席指定 6,500円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニーホール チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

—— 大阪を楽しんで帰ってくだ
さいね。
福間 「また来てや」って言われる
よう頑張ります。
宮田 終わってから食べる「串焼
き」も楽しみ、「串カツ」じゃなく
「串焼き」の店。
福間 どこ？ 今度おしえて！
(取材文 東端哲也)



仲道郁代

ピアノ・リサイタル

ショパンのポロネーズとバラード全曲をまとめて弾くほか充実のトークも

ベートーヴェンやシューマンなどピアノリストとして王道のレパートリーを得意とし、日本を代表するピアニストとして活躍を続ける仲道郁代だが、今回はベートーヴェンなどドイツものとともに近年集中して多くのステージで取り組むショパンの作品の中から、ポロネーズとバラード全曲に絞った興味深いプログラム。特に生前に出版されたポロネーズが一度に聴ける機会は貴重だ。

わずか39年の人生をピアニストとして、また作曲家として駆け抜け、甘美な雰囲気の良い旋律をいまに残した「ピアノの詩人」フレデリック・ショパン（1810～1849）。中でもポロネーズは、わずか7歳で作った短調のものが現存する最初の作品とされるように、ほぼ全生涯にわたって作曲された。現在では独奏曲で16曲が確認され、ほかにピアノとオーケストラの「アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ」やチェロとピアノの室内楽作品「序奏と華麗なるポロネーズ」が知られる。

文字通りフランス語でポーランドの舞曲の意味であるポロネーズは、同じく民衆の舞曲であるマズルカとともに、祖国を離れ多くをフランスで過ごしたショパンにとり、その特徴的なリズムが熱く望郷の思いを起させるものだったようだ。今回の7曲

は、人気の「英雄ポロネーズ」や、最近も音楽誌のアンケートで、プロのピアニストたちが最も好きなショパンの作品として挙げる「幻想ポロネーズ」など、傑作揃いの作品たちだ。

冬季オリンピックのフィギュアスケートでたびたび曲が使用されて、今やクラシック・ファン以外にもすっかり知られるようになった第1番をはじめとするバラードは、全部で4曲。ショパンはピアノ作品にバラードという名を始めて本格的に使った作曲家だ。同時代のポーランドの愛国的な作風で知られる詩人アダム・ミツキエヴィチが、歴史に翻弄される祖国をつたった詩に大いに共感し作曲したとされる。

知的な探求心が円熟の演奏をいつそう味わい深いものに

仲道はこれまで作品の背景だけでなく、当時のいわゆるフォルテピアノにもアプローチをしていて、ショパンの生きた時代のプレイエル（パリ／1842年製）やブロードウッド（ロンドン／

1816年製）のオリジナル楽器を入手。現代ピアノの奏法との比較研究を行い、そこで得た知見が、モダンピアノを弾くときに、さらに深みと独自の多様な表現を可能にしたという。

90年代にポーランドの名門、ワルシャワ・フィル（カジミエシ・コルト指揮）と共演して以来、2度目の協奏曲録音となった2010年のオリジナル楽器のオーケストラ、クラシカル・プレイヤーズ東京（有田正広指揮）との2つの協奏曲に対する高い評価は、その成果の一つといえるだろう。

10代からアメリカやドイツの社会で暮らし、各地での生活から人と音楽とのかわりの大切さを考えてきたという仲道。それが長らくステージから聴衆に語りかけるといふスタイルにつながる。いよいよ円熟を増す演奏とともに、今回もまた親密な空間が生み出されることだろう。

（文 城間 勉）

[ピアノ] 仲道郁代

《オール・ショパン・プログラム》

ポロネーズ第1番 嬰ハ短調 op.26-1／ポロネーズ第2番 変ホ短調 op.26-2／ポロネーズ第3番 イ長調 op.40-1「軍隊」／ポロネーズ第4番 ハ短調 op.40-2／ポロネーズ第5番 嬰ハ短調 op.44／ポロネーズ第6番 変イ長調 op.53「英雄」／ポロネーズ第7番 変イ長調 op.61「幻想ポロネーズ」／バラード第1番 ト短調 op.23／バラード第2番 へ長調 op.38／バラード第3番 変イ長調 op.47／バラード第4番 へ短調 op.52

2025.3/22 (土) 2:00PM

全席指定 5,000円(税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中



横坂源が2025年もザ・シンフォニーホールでリサイタルを開催！

2025年の横坂源のチェロ・リサイタルでは、ヨーロッパの様々な国の音楽が披露される。ロシアからショスタコーヴィチとシュニトケ、ジョージア（グルジア）からアザラシヴィリ、ハンガリーからバルトーク、フランスからオッフェンバックとドビュッシー、スペインからフアリャ、ドイツからヘンデルである。

横坂は、1986年生まれ。2010年にミュンヘン国際音楽コンクールで第2位に入賞するなど、早くから注目される。シュトウツガルト国立音楽大学、フライブルク国立音楽大学で学び、現代最高のチェリストの一人であるジャン＝ギアン・ケラスに師事。今や日本を代表するチェリストの一人として、精力的に活躍している。今年もザ・シンフォニーホールでは、2月のリサイタルで萩原麻未



ピアノ 沼沢淑音

とベートーヴェン及びR・シュトラウスのチェロ・ソナタやピアノソラ作品を弾き、7月の熱狂コンチエルトではサン＝サーンスのチェロ協奏曲第1番を演奏するなど、レパートリーの幅の広さを印象づけた。

ヨーロッパの様々な国の美しい旋律の作品で横坂の歌心を満喫

今回のメインはショスタコーヴィチのチェロ・ソナタ。ショスタコーヴィチは、20世紀のロシア、つまりソビエト連邦を代表する作曲家。チェロ・ソナタは、抒情的で美しい旋律やモダンなテイストを交え、20世紀のチェロ・ソナタの傑作の一つに数えられている。横坂のスケールの大きな歌心を聴くのに適した曲である。シュニトケは、前衛的な作風で知られるが、「古い様式による組曲」は親しみやすいメロディが用いられた作品。アザラシヴィリは、今年亡くなったジョージアの作曲家。「無言歌」では感動的な旋律が奏でられる。今後、日本でもアザラシヴィリの知名度が上がっていくに違いない。バルトークの「ルーマニア民族舞曲」やファリャの「スペイン民謡組曲」など、民族豊かな音楽も楽しんだ。ドビュッシーの「月の光」もオッフェンバックの「ジャクリヌの涙」もゆつたりとしたメロディ。ヘンデルのチェロ・ソナタは哀愁を帯びたバロック音

楽。今回のリサイタルでは、旋律の美しい作品が多く、横坂がたっぷりとヴィブラートをかけてロマンティックな歌を披露してくれるに違いない。

沼沢淑音は、ソリストとして活躍する一方で室内楽奏者としても様々なアーティストから信頼が厚い。横坂とは高校（桐朋学園）の同級生。気の合ったアンサンブルが繰り広げられることだろう。沼沢はモスクワ音楽院を卒業しているだけに、とりわけ、横坂とのショスタコーヴィチが楽しみである。

（文 山田治生）

[チェロ]横坂 源 [ピアノ]沼沢淑音

ヘンデル：チェロ・ソナタ ト短調 / オッフェンバック：ジャクリヌの涙
ファリャ：スペイン民謡組曲 / アザラシヴィリ：無言歌
バルトーク：ルーマニア民族舞曲 / シュニトケ：古い様式による組曲
ドビュッシー：月の光 / ショスタコーヴィッチ：チェロ・ソナタ 二短調 op.40

2025.3/22 (土) 7:00PM

全席指定 4,400円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

Ikuko Kawai Symphonic Concert

川井郁子

シンフォニックコンサート2025

音楽舞台～源氏がたり～
& ヴァイオリンコンサートInterview
前編

「ヴァイオリン」川井郁子



和のアイデンティティ、その音色に溶け合うヴァイオリン

——今回の公演「音楽舞台」源氏がたり」がメインとなります。そういった内容になりますか？

原案が作家・林真理子さんの小説『六条御息所源氏がたり』です。前回も、ザ・シンフォニーホールで源氏物語の夕顔の曲を演奏した時、ホールの空間と音がとても合っており、思い出に残りました。今回は、葵の上と六条御息所の話になります。有名な車争いの場面も含まれているので、嫉妬などのどろどろとした感情が出る内容になります。

——デビュー当時から和楽器を曲に積極的に盛り込まれていますね。当時、ヴァイオリンと対峙できる

音は何か考え、尺八にインスピレーションを得ました。尺八を使うことで宇宙的な広がりや表現できました。実は最近になり、私の祖父が尺八を吹いていたと聞いたんです。幼い頃に音を耳にしていたらしいんです。覚えていないですが、心のどこかに音色が残っていたのでしようね。私の好きなアルゼンチンの作曲家、ピアソラも自らのアイデンティティであるタンゴと、クラシックやジャズといった、異ジャンルを組み合わせました。自分の原点をもとにコラボするのは大事です。

——「ホワイトレジェンド」もそうですね。誕生秘話を教えてください。チャイコフスキーの『白鳥の湖』をアレンジしたいと思った時、私は

なぜかあのメロディに『和』を感じ、昔の着物を着た女性のイメージが突然頭に浮かんできたんです。フィギュアスケートの羽生結弦選手も、10代の時からこの曲を使ってくれています。彼は陰陽師など和の世界を大事にしているので、気に入っていたのかもしれません。

自然から得る創造の世界

——素晴らしい創造力を得るために大切にしていることはありますか？

自然の中にいる時は、インスピレーションが降りてくることが多いです。子どもの時に海を見て空想するのが好きだったんです。自然が想像の世界にいきなつてく

れるのかもしれませんが。故郷の香川県に住んでいた時は土地の寒さに気づきませんでした。離れた今、あの景色の特別感や、そこしかない神がかった空気感を理解できます。

——気合の入った公演に向けて、お客様にメッセージをお願いします。

「観たことのない舞台」になると思います。和楽器ってこんなにかっこいいんだ、と気づいてもらえらると思います。また、平安の装束を身につけた奏者のたたずまいも含めて、美しさを堪能できる機会。楽しんでいただければ。

(取材・文 青木さやか)

和楽器と奏でる源氏物語と
唯一無二のハーモニー

「ヴァイオリン」川井郁子

夕顔～「源氏物語」より～／モルダウ／ジブリ・メドレー／乱拍子・急の舞
「道成寺」より／ブルーバード／アヴェ・マリア／ホワイトレジェンド～「白鳥の湖」より～／祇園精舎「平家物語」より ほか(予定)

2025.3/28 (金) 7:00PM

全席指定 S席 6,500円 A席 5,000円(税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中



珠玉の シネマ名曲 SELECTION Vol.9

荒 庸子 チェロ・リサイタル2025

映画愛と温かみに溢れたチェロの音色で、厳選された映画の名曲を

心が浮き立つ春の訪れにぴったりなチェリスト荒庸子の「珠玉のシネマ名曲 SELECTION」が、2025年で9回目を迎える。荒は洗足学園音楽大学・大学院の教授として後進の育成に取り組みながら、ソロや室内楽、オーケストラの舞台で国内の主要チェリストとして活動を展開。なかでもこのシリーズは、幼少期より映画やミュージカルをこよなく愛し、すでに映画音楽をテーマにした2枚のCDをレコーディングしてきた彼女がひととき輝く時間になっている。

これまで多数の作品を取り上げてきたが、今回はすでにおなじみのレパートリーから新たに用意したものまで、幅広い時代と国の映画音楽をそろえた。まずは稀代のコメディアンでありながら作曲にも長けていたチャップリンの音楽をセレクト。チャップリンナンバーでは定番である「スマイル」や、バッハの前奏曲が織り交ぜられた作曲家・藤満健のアレンジによる「ライムライト」を演奏する。

ほかにも荒自身の思い入れも強い作曲家であるモリコーネ「ニュー・シネマ・パラダイス」「海の上のピアニスト」、またジョン・ウィリアムズ「シンドラーのリスト」や「ロータ・ゴッドファーザー」などの色あせぬ名曲たち、またクラシックではよく知られたショスタコーヴィチが映画「馬あぶ」で手がけた「ロマンス」、そしてハーヴィッツ「ラ・ラ・ランド」といった現代作品もラインナップされている。

「映画音楽だけでなくクラシックの名曲も知ってほしい」という意図から、クラシック作品も織り交ぜるのが恒例のスタイルだ。サン＝サーンス「白鳥」やフォーレ「エレジー」といったオーソドックスな名曲から、技巧性の強いポツパー「ハンガリー狂詩曲」、ほかにもピアソラなどの作品をそろえ、チェロ本来の音色の魅力をより一層感じられるプログラムになっている。

シリーズを通して欠かさず演奏パートナーとして寄り添ってきたピアニストの山田武彦が、今回も共演者として登場。何度も共演を重ねてきた安定感がある一方で、「山田さんとのステージは、何が起きるかわからないワクワク感がある」と荒が評するように、生ステージだからこそのスリリングさも味わうことができそう。楽曲の素晴らしさはもちろんのこと、荒の映画に対する弛まぬ愛も伝わってくるこのシリーズは、リピーターも多い。今回もまた、荒の上質な音色と輝きを失わぬ音楽たちが心を揺さぶってくれるに違いない。

(文 柴田萌)



ピアノ 山田武彦

[チェロ] 荒 庸子 [ピアノ] 山田武彦

ヤング「80日間世界一周」より「アラウンド・ザ・ワールド」/チャップリン「ライム・ライト」より「エターナリー」/チャップリン「モダン・タイムス」より「スマイル」/ウィリアムズ「シンドラーのリスト」/モリコーネ「ニュー・シネマ・パラダイス」/ショスタコーヴィチ「馬あぶ」より「ロマンス」/ピアソラ「エンリコ4世」より「アヴェ・マリア」/モリコーネ「海の上のピアニスト」より「愛を奏でて」/マンシーニ「ひまわり」/ロータ「ゴッドファーザー」より「愛のテーマ」/ハーヴィッツ「ラ・ラ・ランド」より「アナザー・デイ・オブ・サン」/サン＝サーンス「白鳥」/フォーレ「エレジー op.24」/ポツパー「ハンガリー狂詩曲 op.68

2025.3/29 (土) 7:00PM

全席指定 4,400円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中



© 飯島隆

第158回定期演奏会

日本が誇る大作曲家六人の魅力を、吹奏楽の響きで再発見

日本の吹奏楽が萌芽して150年余り。その間に輩出された大作曲家たちが、吹奏楽のためにのこした名作の中から六作品を取り上げ、芸術顧問、秋山和慶のタクトによりその魅力に迫ります。

前半は『三人の会』芥川也寸志・黛敏郎・團伊玖磨、後半は間宮芳生・三善晃、そして2023年9月に惜しまれつつ亡くなった西村朗の作品で構成します。

オープニングを飾る芥川也寸志「風に向かって走ろう」は群馬県で行われたあかぎ国体のための行進曲。国体マーチと聞いて侮るなかれ、明快な旋律とリズム、そして密入国するほど強い影響を受けたソヴェエト音楽のエッセンスなど、作風を十分に堪能できる作品です。

指揮 秋山和慶



続く黛敏郎「トーンブレロマス55」は、独特なユーモアと現代的書法が見事にクロスオーバーした作品です。アメリカの作曲家エドガー・ヴァレーズの強い影響下にあり（トーンブレロマスも彼の造語）、押し寄せる管打楽器の音群とサイレン、そしてミュージカルソー（のこぎり）が多様な音像を生み出します。世界の最前線で活躍するミュージカルソー奏者、サキタハヂメ氏を迎えての演奏です。

前半の締めくくりには2024年に生誕100年を迎えた團伊玖磨の幻の名曲「吹奏楽のための奏鳴曲」をお届けします。沖縄音階を使ったソナタと葬送行進曲という二楽章から構成。團は沖縄音階について「ヒンズー音楽に祖を持つ」と語り、本作も琉球音楽とは趣が異なります。葬送行進曲は重厚な響きを持ち、吹奏楽の魅力を再認識できるでしょう。

後半も行進曲からスタートします。間宮芳生「カタロニアの栄光」は建築家、ガウディへのオマージュ。教会旋法を用いた異国情緒漂う旋律がコラージュされ、ガウディの作品を表現します。

三善晃「スターズ・アトランピック'96」はアメリカの大学からの委嘱を受け、アトランタ・オリンピックと、若い人々の交歓に寄せる思いで書かれた作品。「出会い」「哀歓」

「祝祭」の三楽章で構成されます。他の三善作品に馴染みのある方は、その聴きやすさに驚かれるかもしれません。

そして最後は西村朗「巫楽」。近年吹奏楽界でブームとなっている「秘儀」シリーズの中にもある、アジアの伝統音楽・宗教・美学・宇宙観を表現した作風が色濃く反映されており、通常の吹奏楽とは編成の面でも一線を画す作品です（五本のソプラニーノ・サクソなど！）。

Shionのテクニックと一体感、六作品の対比とそこから生まれる新たな魅力を、是非会場でお楽しみください。

[指揮]秋山和慶(芸術顧問)

[吹奏楽]Osaka Shion Wind Orchestra

《大作曲家の吹奏楽》(邦人作曲家編)

芥川也寸志・行進曲「風に向かって走ろう」/ 黛敏郎・トーンブレロマス55 / 團伊玖磨(時松敏康 編)吹奏楽のための奏鳴曲 / 間宮芳生・マーチ「カタロニアの栄光」/ 三善晃・スターズ・アトランピック'96 / 西村 朗・巫楽 管楽と打楽器のためのヘテロフォニー(1990年版) ※やむを得ぬ事情により、出演者、曲目等が変更になる場合があります。予めご了承ください。

2025. 1/25 (土) 2:00PM

全席指定 S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円 C 2,500円 学生価格 3,000円(税込)

※C席は、Shionチケットセンター、Shionオンラインチケットのみでの販売。

※学生価格は、Shionチケットセンターのみでの販売。

[お問い合わせ]Shionチケットセンター

フリーコール:0800-919-5508(平日10:00~17:30)

[主催]公益社団法人 大阪市音楽団

発売中

ザ・シンフォニー チケットセンター Information

WEBでのチケット購入がますます便利／

初回利用時は新規利用登録が必要です！

2024年9月2日よりザ・シンフォニー チケットセンターのチケット購入システムをリニューアルいたしました。すでにシンフォニア会員の方も、9月2日以降、初めてWEBにてチケット購入をご希望のお客様は、「新規利用登録」が必要です。

ご利用手順

- ① ザ・シンフォニーホールのWEBサイトの「チケット」より「新規利用登録はこちら」をクリック
- ② 利用規約・個人情報保護方針をご確認いただいた後、お客様情報の入力画面へ
- ③ お客様情報を入力
※すでにシンフォニア会員の方は、会員番号を入力してください。
※会員番号がわからない場合は、チケットセンターまでお問い合わせください。
※お名前とお電話番号、会員番号が一致しましたら、会員番号を引き続きご利用いただけます。
※9月2日以前までご利用いただいていたパスワードはご使用できません。
新たに登録をお願いいたします。
- ④ 入力されたメールアドレスに「仮登録完了」のお知らせが到着後、メール記載のURLより「本登録」を完了してください

簡単お得！ 電子チケット対応中

手数料がお得!!

ご購入後にメールで届くので、
チケットのお忘れや紛失の心配なし!

WEBにて決済後は「マイページ」より「電子チケット一覧」をクリックすると、電子チケットが表示されます。
入場時にスタッフが電子スタンプを押します。



※電子チケット対応をしていない公演もございます。
あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。

ご不明な点はザ・シンフォニーチケットセンターへお気軽にお問い合わせください!

06-6453-2333 (11:00~16:00/火曜定休)

ザ・シンフォニーホールと韓国 Daegu Concert Houseが連携協定 調印式実施

テグ・コンサートハウス



ザ・シンフォニーホールと韓国 Daegu Concert House (テグ芸術文化財団)が友好関係を強化することで相互理解を深めると同時に業界の振興に寄与することを目的とした連携協定を締結させることとなり、9月25日に調印式を行いました。

韓国大邱市は、芸術文化の盛んな地域で2017年にユネスコ音楽創造市にも選定されています。Daegu Concert Houseは、テグ・コンサートハウスをはじめ、オペラハウスなどを所有しています。この調印式には、田仲豊徳(ザ・シンフォニーホール代表取締役社長)・喜多弘悦(取締役ゼネラルマネージャー／音楽総監督)、パクゼネラルディレクター、キムディレクターが登壇しました。

協定は「地方アーティストの出演・演奏プログラムの協力」「施設運営・

田仲代表取締役社長は、「芸術文化の交流は、民間のホールだからこそできることであり、自由度も高い。たくさん新しい絆が生まれ、育っていくことを期待し、この交友関係が未来へ継承されることを祈念しています。我々も微力ながら尽力してまいります」と語り、調印を行いました。

音響設備・サービス・マネジメント人材の交流プログラムの実施「技術・アイデアの共有」を柱に締結されました。

パクゼネラルディレクターは、「我々は次の10年に向けて、音響システムの維持や改修計画、サービスの向上など、どのようなビジョンと計画を立てるべきか、という様々な課題に直面しています。40年以上の歴史と経験を持つホールを維持しているザ・シンフォニーホールと協力し、いばん良い解決策を見つかることができると確信しています。コンサートホール間の関係を発展させるだけでなく、2つの都市間の関係を強化することにもなるでしょう」とコメント。



こみちゃんの 温故知シン《vol.12》

小味渕 彦之(こみぶち ひろゆき／音楽評論家)



©Photo by Taichi Nishimaki

9月25日にロンドン交響楽団(LSO)の来日公演を聴いた(Ⅱ写真は東京公演)。指揮は今年6月まで20年以上にわたって同じロンドンにあるロイヤル・オペラハウスの音楽監督を務め、この9月からLSOの音楽監督に就任したアントニオ・パッパーノ。1959年生まれだから、今年で64歳になる名匠だ。新たな旅出を私たちもリアルタイムに実感することになったのだが、LSOがここザ・シンフォニーホールで演奏をするのは、ずいぶんと久しぶりのことと思う。残響2秒の響きの中で聴くこのオーケストラは、やっぱり「つわもの」集団だった。単に演奏の技術力が高いだけではない。確固たる人格を持った楽団なのだ。

冒頭に演奏されたベルリオズの序曲《ローマの謝肉祭》からそのことは顕著だ。パッパーノが振り下ろした指揮棒に奏者ひとり一人が個別に反応するのではない。ひとつの人格を持ったオーケストラとして指揮の意味を受け止め、それを表現する様を聴かせてくれた。それでいて各パートの独自性は明確に浮かび上がる。珍しく取り上げられたラフマニノフの《ピアノ協奏曲 第1番》ではユジャ・ワンが鮮やかな独奏を聴かせ

た。衣装に注目が集まることも多い彼女の演奏を、これまで大阪で聴かれる機会はないのほかなかったが、真摯で正攻法な音楽表現は目の前で聴いてこそ、確かめられるものだ。

休憩後のサン・サーンスの《交響曲 第3番「オルガン付き」》で興味深い出来事を目にした。この曲ではオーケストラの1パートとしてピアノが必要とされ、その中の8小節間だけを連弾で演奏しなければならぬ箇所がある。当然、ピアノ奏者が2人必要とされるのだが、どう舞台をのぞき込んでもピアノの前には1人しか演奏者がいない。どこから2人目の奏者が登場するのと思ったら、当該箇所の数小節前に打楽器奏者が近づいてきた。ピアノはハンマーで弦を打つ打楽器だから、なんて話ではない。なかなか見られない光景だった。ピアノを弾いた後は、クライマックスに涼しい顔をして大太鼓をここでしかないポイントで鳴らすのだからまさに天晴れ。パッパーノの指揮のもとで、LSOの演奏としても大変充実した響きに満ちあふれていた。

これまで20回を超える来日公演を行なってきたLSOが初めて日本を訪れたのは、今から61年前1963年のこと。当時の衝撃を懐かし

そうに語る年上の友人を羨ましいと思っても、生まれ年だけは遡ることができないのだが、この年の第6回大阪国際フェスティバルの目玉として、旧フェスティバルホールで、なんと、すべてプログラムが異なる4日間の公演が行われている。ピエール・モントゥー、アンタル・ドラティ、ゲオルグ・シヨルティとそうそうたる指揮者が登場した。その後、ケルテス、コリン・デイヴィス、ブレヴィン、チェリビダツケ、アバド、ティルソン・トーマス、バンスタイン、ブルーゼズ、チョン・ミュンフン、エッシェンバッハ、ケン・ナガノ、ロストロポーヴィチ、ハーディング、ゲルギエフ、そして前回のサイモン・ラトルまで、LSOと共に日本の聴衆に音楽を届けた指揮者の名前を並べれば、それが世界の名指揮者のリストになるほどだ。そこに加わったのが今回のパッパーノ。これからの彼らの活躍を期待したい。

※前回掲載した内容の中で、ザ・シンフォニーホールで朝比奈隆の指揮によるブルックナーの交響曲が演奏されたのは、「1983年から2001年までの計11回の演奏会」でした。ご教示いただいたザ・シンフォニーホール元館長の鈴木貞治様に心から感謝いたします。

音楽を愛する団体が集い、夢を発信する 「ザ・シンフォニーホール」。

芸術の秋、皆さま楽しんでおられますか？
今回は学生と音楽家のコラボレーションが楽しみな大阪音楽大学と、
クリスマスを体現したコンサートを届ける関西学院をご紹介します。
年末まで音楽と共に走り抜けましょう！

MESSAGE

大阪音楽大学 第67回定期演奏会

大阪音楽大学 第67回定期演奏会

[指揮] 尾高忠明
[チェロ] 北口大輔
[管弦楽] 大阪音楽大学管弦楽団

J.ブラームス:
大学祝典序曲 op.80
A.ドヴォルザーク:
チェロ協奏曲 口短調 op.104 (B.191)
J.ブラームス:
交響曲 第2番 二長調 op.73

2024.12/1(日) 5:30PM

一般:3,500円(税込)
※全指定席 ※高校生以下は無料

[お問い合わせ]
大阪音楽大学コンサート・センター
06-6334-2242
※平日9:00~16:00(土・日・祝は閉室)



今回のプログラムでは、ドヴォルザークの純愛と愛国心が詰まった至高の傑作となるチェロ協奏曲を、本学特任准教授の北口大輔氏がソリストを務める。指揮は2021年12月の定期演奏会で共演し、好評を博した尾高忠明氏。ブラームスの「田園交響曲」とも呼ばれる交響曲第2番では、尾高氏の渾身のタクトから湧き出る音楽に期待が高まる。国内外で活躍する2人の音楽家と学生による夢のステージ、是非お越しください。

大阪音楽大学管弦楽団による定期演奏会―指揮者に尾高忠明氏、ソリストに北口大輔氏(本学特任准教授)を迎えお届けします！
大阪音楽大学管弦楽団は、管弦打楽器専攻の学生を中心に編成。モーツァルトのオペラから後期ロマン派、近代、現代作品にいたるまで様々な楽曲演奏を通して、オーケストラに必要な演奏技術の習得を目指し、その成果はザ・シンフォニーホールでの定期演奏会などで披露、学生によるオペラ公演でも演奏している。宮本政雄氏が築いた礎のもと現在にいたるまで、日本の音楽文化発展に貢献した朝比奈隆氏らの指導により啓発された音楽への情熱が後進へ継承され、次代を担う音楽人を育成している。

MESSAGE

関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール

関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール

[メッセージ] 村瀬義史(総合政策学部宗教主事)
[オルガン] 坂倉朗子(関西学院オルガン講師)
[出演団体] 関西学院ハンドベルクワイア、関西学院大学応援団総部吹奏楽部、関西学院交響楽団、関西学院聖歌隊、関西学院グリークラブ、関西学院ウィメンズ・グリークラブ、関西学院大学混声合唱団エゴラド、関西学院高等部吹奏楽部有志、関西学院高等部グリークラブ、関西学院中学部グリークラブ、K.G.合唱の会、ベーツホールクワイア

<第一部>クリスマス礼拝
<第二部>クリスマスコンサート

2024.12/19(木) 6:30PM
全席指定席 2,500円(税込)

[お問い合わせ]
関西学院宗教センター
0798-54-6018

関西学院の音楽的な賜物を結集したクリスマス礼拝&コンサートに、学院の同窓やご家族はもちろん、広く一般の方々のご来場を心よりお待ちしております。





ABCアナウンサー
堀江政生の

シンフォニア・アワー *Sinfonia Hour*

クラシックの意外な裏話や、ザ・シンフォニーホールにまつわる話など、
ここだけのとっておきエピソードをご紹介します。



vol.66 男の幻想！

毎号、いわゆる「です、ます調」で書いておりますが、今回は内容の性質上、ハードボイルドタッチでの執筆となります。何卒ご理解ください。

…男は、適度な硬さが心地よい座席に腰掛け、団員の登場を待っていた。20世紀の巨匠、ヘルベルト・フォン・カラヤンが世界最高のコンサートホールと称えたその空間には、平日の昼間にかかわらず多くのファンが訪れていた。太鼓2台、ティンパニ6台、ハープ2台。誰もいない舞台を見て男はつぶやいた。「マラーかと思うような編成だなあ」。ベートーヴェンの第九からわずか6年後に書かれた幻想交響曲は、20世紀のそのような規模を誇っている。駆け出しの作曲家が大女優に恋をしたことから生まれたシンフォニー。男は日常を忘れ、ほぼ200年前のフランスに思いをはせた。

「失礼します」男の隣に女性が座った。手際よくバッグを座席の下に納めると、彼女はホールが配布している機関誌を1ページ目から丁寧に読み始めた。ジルベスター、ニューイヤー、紅白オペラ歌合戦、ゴスペル…このホールで繰り広げられる未来の音を奏でるように、細い指が冊子のページをめくっていく。

男の胸は高鳴っていた。37ページ。そう、その冊子の37ページには男の文章が刻まれているのだ。『堀江政生のシンフォニア・アワーvol.64』。彼女はそこをどんな表情で読むのであろうか。読み終えたその人に向かって何と声をかけようか？ ベルリオーズがオフィーリアを演じた大女優に手紙を書くとき、こんな気持ちだったのだろうか？ 男の頭の中では既に幻想の第一楽章が響いていた。

音楽を愛する団体が集い、夢を発信する『ザ・シンフォニーホール』と表題が打たれた36ページの文章を読んだ後、隣のページには目もくれず彼女は静かに冊子を閉じた…

やっぱりそんなもんだよなあ。

立ち直りの早い堀江政生、高らかに宣言します。読んでもらえなくても書き続けますので、これからもこのページをよろしく願いいたします！

公演の聴きどころ、豪華ゲストを招いてのお話など、名曲とともにご紹介！

🎙️ 堀江政生のザ・シンフォニーホール・アワー

ABCアナウンサー堀江政生が、豊富なクラシック知識を余すところなく語る30分。

ABC Radio
AM1008/FM93.3

毎週日曜日
あさ7時～7時30分

The Symphony Time

ザ・シンフォニー・タイム



YES-fm

リクエスト・メッセージ
募集中!!

毎週土曜日 あさ10時～11時 **ON AIR**

リピート放送 毎週月曜日 20時～21時

ザ・シンフォニーホール音楽総監督・ゼネラルマネージャーの喜多弘悦がクラシック音楽をより多くの方に聴いていただけるよう、わかりやすく楽しい軽快なトークとともに、クラシックの名曲をご紹介します！

topics

アプリで聴けるようになりました！



The Symphony Timeがスマホアプリで視聴できるようになり、全国どこでも手軽に聴くことができます！

引き続きCS放送、USENでもリアルタイムに配信。

USEN

※ご契約内容によって聴取いただけないエリアがございます。



FM++(エフエムプラス)とは、コミュニティFM向けのスマートフォンアプリです！



このQRコードを読み取り、iphoneの方はApp Storeで、Androidの方はGoogle playからダウンロードを！